

平成28年農林水産物・食品の輸出実績

(品目別)

平成 2 9 年 4 月

農林水産省

食料産業局輸出促進課

品目別内訳	2		
加工食品の内訳	3	野菜・果実等の内訳	20
アルコール飲料	4	りんご	21
日本酒(清酒)	5	ながいも	22
醤油	6	ぶどう	23
みそ	7	桃	24
清涼飲料水	8	いちご	25
菓子(米菓を除く)	9	かんしょ	26
米菓	10	なし	27
		うんしゅうみかん	28
畜産物の内訳	11	柿	29
牛肉	12		
粉乳(育児用調製品ほか)	13	その他農産物の内訳	30
鶏肉	14	緑茶	31
牛乳	15	植木等	32
鶏卵	16	切花	33
豚肉	17		
		林産物の内訳	34
穀物等の内訳	18	丸太	35
米(援助用除く)	19	合板	36
		製材	37
		水産物(水産調製品以外)の内訳	38
		ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	39
		真珠(天然・養殖)	40
		さば	41
		ぶり	42
		かつお・まぐろ類	43
		さけ・ます	44
		さんご	45
		いか	46
		錦鯉等観賞用魚	47
		たい	48
		すけとうたら	49
		水産調製品の内訳	50
		ホタテ貝(調製品)	51
		練り製品(魚肉ソーセージ等)	52
		乾燥なまこ(調製)	53
		貝柱(調製品)	54
		あわび(調製)	55

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

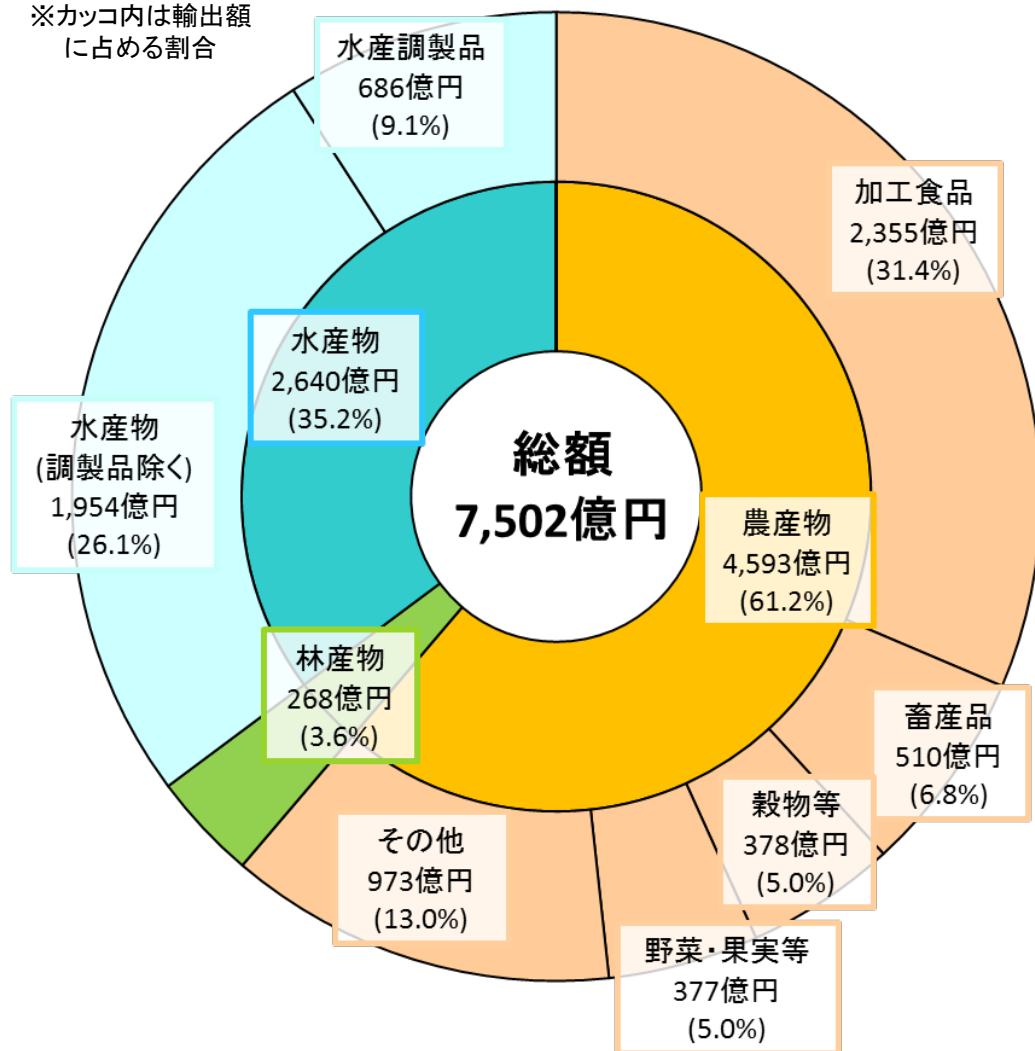
平成28年農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目	平成27年 2015年	平成28年 2016年	増減率
農林水産物	7,451	7,502	0.7%
農産物	4,431	4,593	3.7%
加工食品 (アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子等)	2,221	2,355	6.1%
畜産品 (食肉、酪農品、鶏卵、牛・豚等の皮等)	470	510	8.7%
穀物等 (小麦粉、米等)	368	378	2.6%
野菜・果実等 (青果物、果汁、野菜・果実の缶詰等)	350	377	7.6%
その他農産物 (たばこ、播種用の種、花き、茶等)	1,022	973	▲4.8%
林産物 (丸太、製材、合板等)	263	268	1.9%
水産物	2,757	2,640	▲4.2%
水産物(調製品除く) (生鮮魚介類、真珠(天然・養殖)等)	2,063	1,954	▲5.3%
水産調製品 (水産缶詰、練り製品(魚肉ソーセージ等))	693	686	▲1.1%

加工食品の内訳

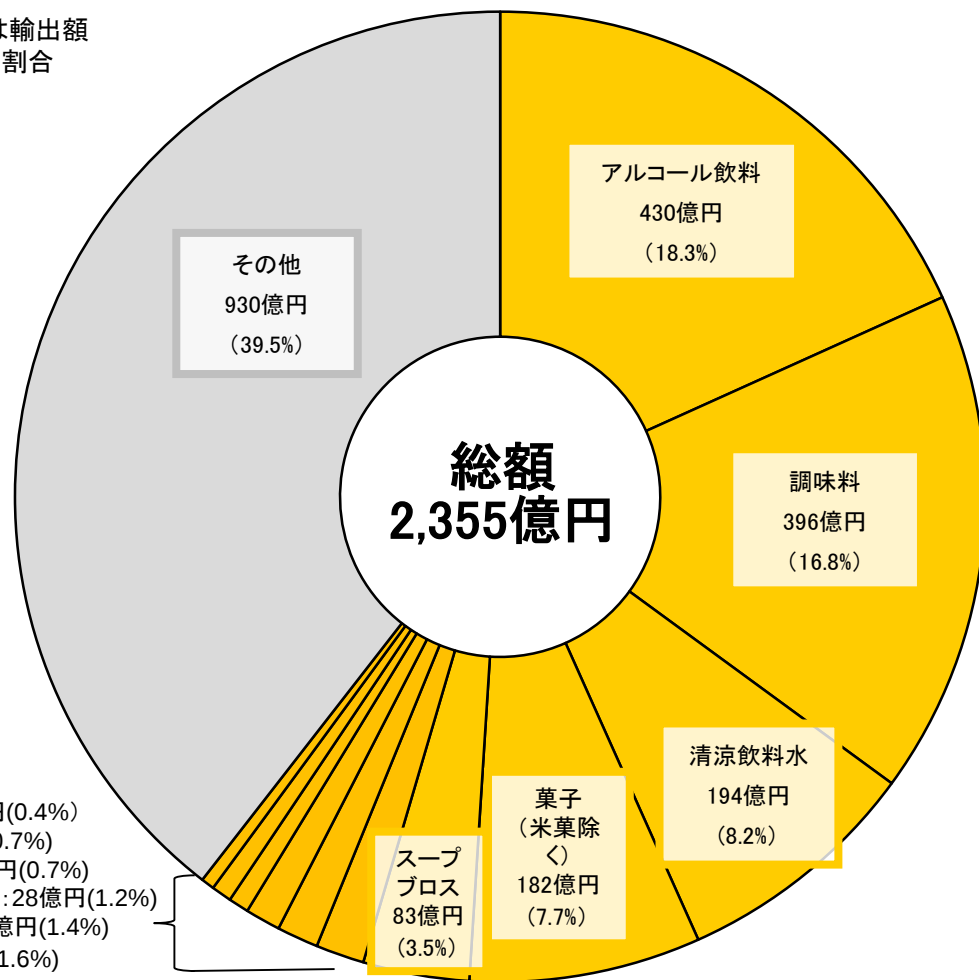
MAFF

●加工食品の品目別内訳をみると、アルコール飲料、調味料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)



品目名	平成27年	平成28年	増減率
アルコール飲料	390.3	430.0	10.2%
清酒	140.1	155.8	11.2%
ウイスキー	103.8	108.4	4.5%
ビール	85.5	94.9	11.0%
焼酎	15.7	14.7	▲6.7%
ぶどう酒	1.9	1.6	▲14.5%
調味料	377.3	395.7	4.9%
ソース混合調味料	264.2	273.7	3.6%
醤油	61.9	66.1	6.8%
みそ	27.6	30.6	11.1%
清涼飲料水	197.4	194.3	▲1.6%
菓子(米菓除く)	177.0	181.6	2.6%
チョコレート菓子	89.0	91.9	3.4%
キャンデー類	60.7	64.6	6.3%
ビスケット	17.0	16.0	▲6.0%
チューインガム	10.3	9.1	▲11.6%
スープ・ブロス	70.3	83.3	18.5%
米菓	38.7	38.1	▲1.6%
ペプトン等	29.1	32.6	11.8%
デキストリン等	28.7	27.7	▲3.7%
レシチン等	16.8	16.0	▲4.7%
酵母	16.1	15.9	▲1.6%
香辛料	10.7	10.4	▲2.6%
その他	868.4	929.9	7.1%
加工食品 計	2,220.8	2,355.4	6.1%

「ソース混合調味料」…ソース、たれ、マヨネーズ、ドレッシング、カレールー等。

「スープ・ブロス」…スープや出汁の素。

「ペプトン」…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。

「デキストリン」…でん粉を分解したもので、食感の改良や増粘安定剤等に使用。

「レシチン」…卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。

「酵母」…ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。

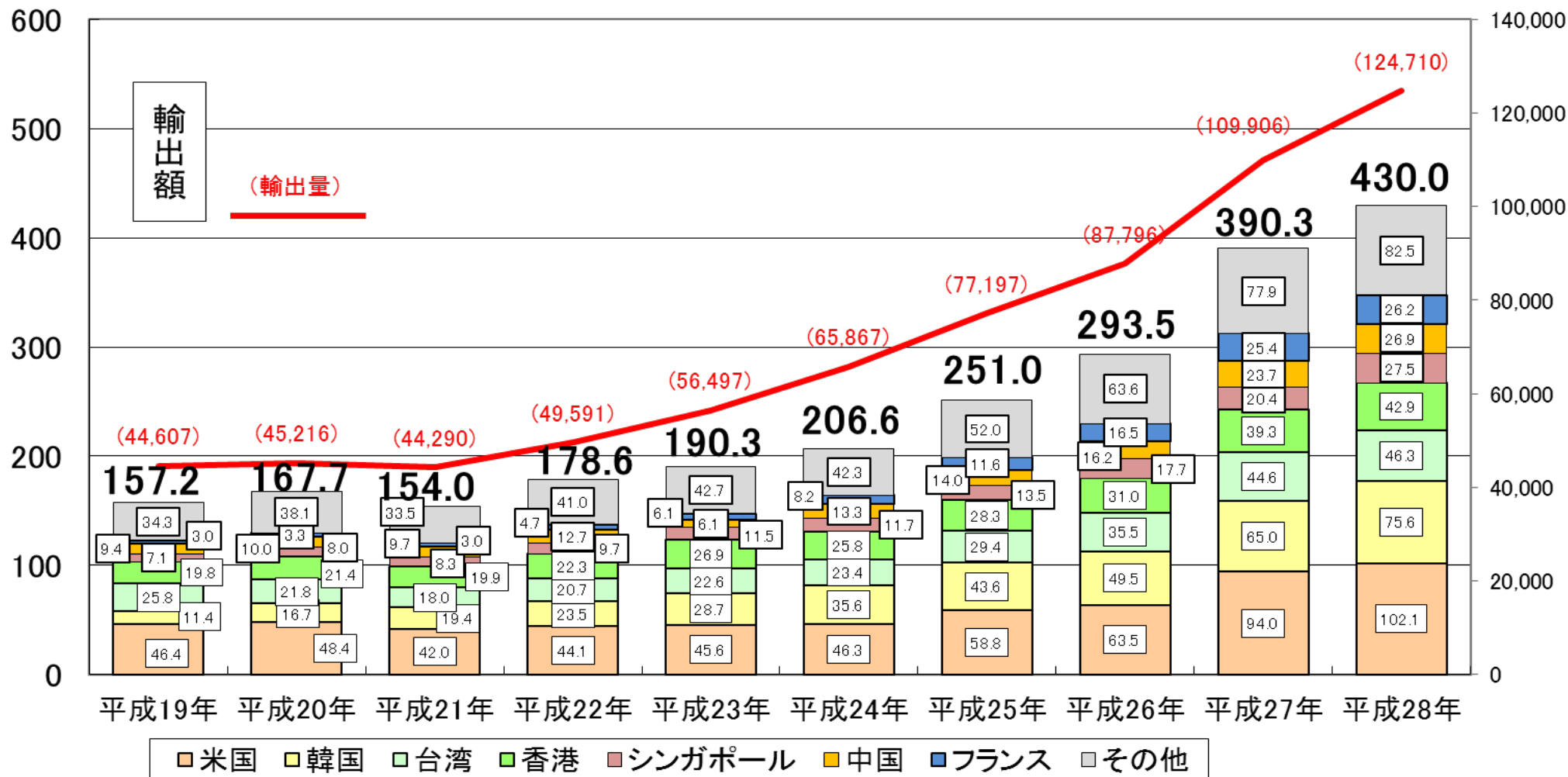
アルコール飲料の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、日本酒(清酒)(156億円)が最も多く、次いでウイスキー(108億円)、ビール(95億円)。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



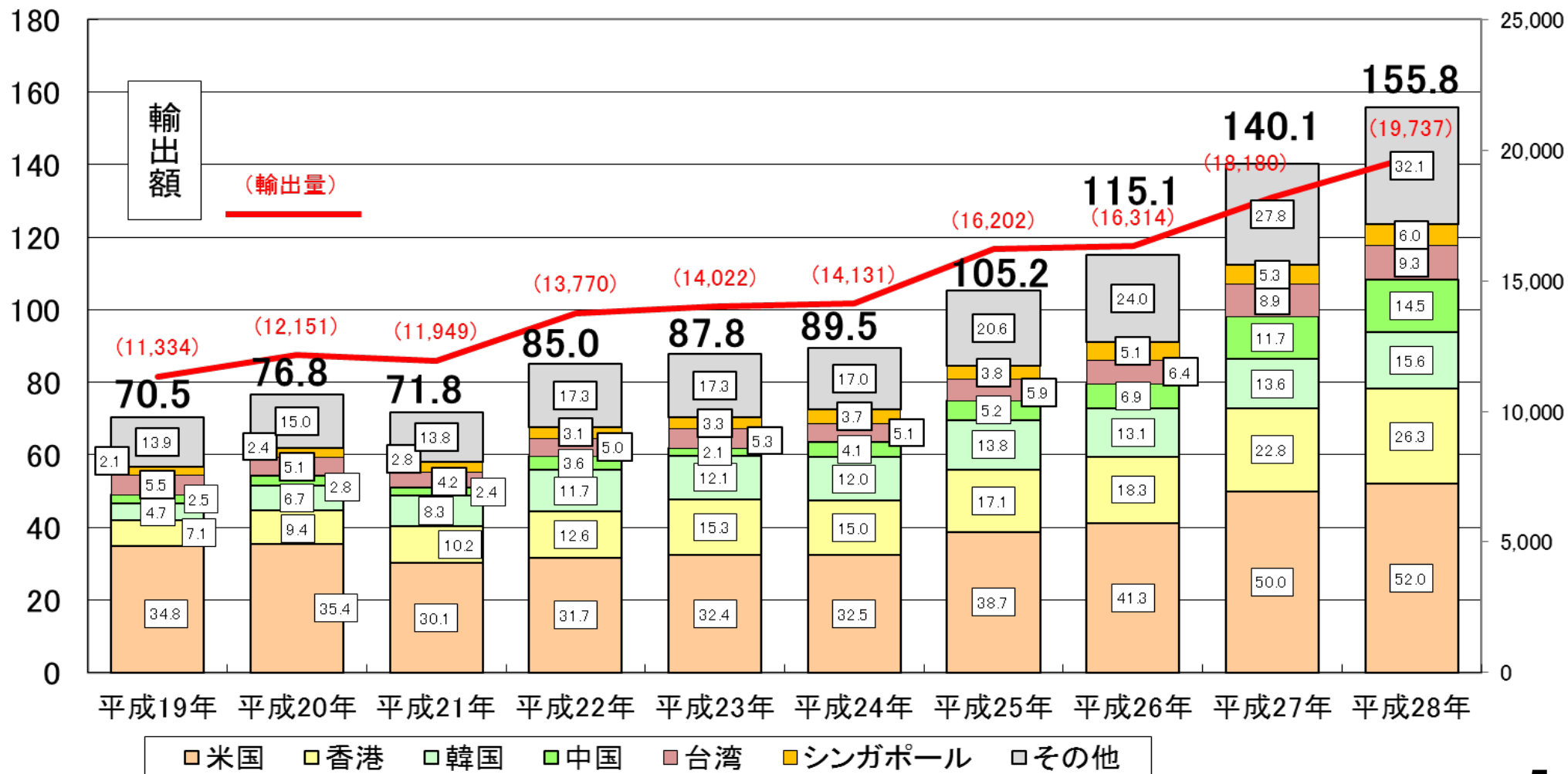
日本酒(清酒)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。
- 米国、香港、韓国、中国、台湾、シンガポール向けが全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



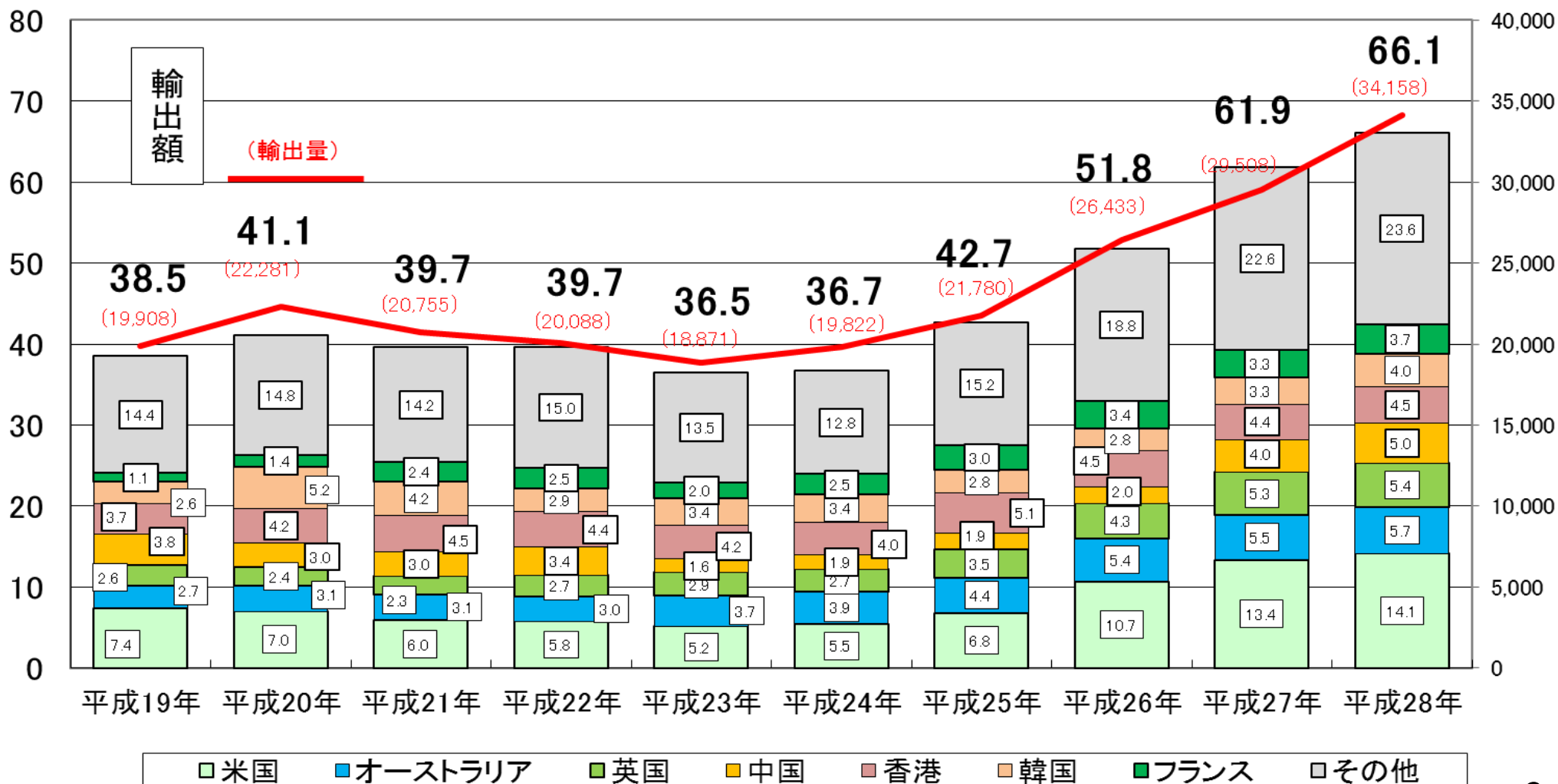
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

醤油の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

- 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて醤油が輸出されている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

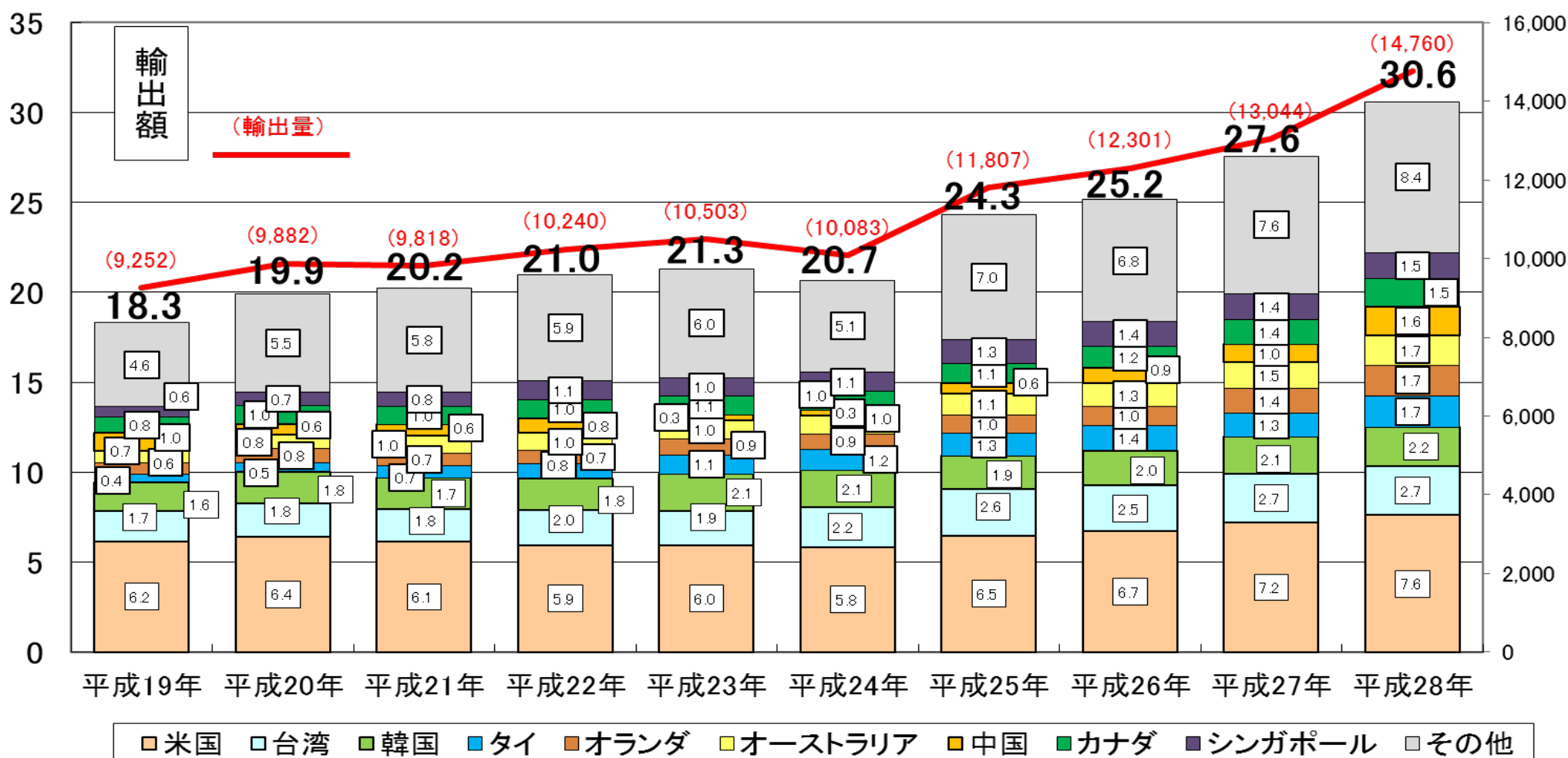
みその輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本食レストランの普及等に伴い、多くの国・地域に向けてみそが輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

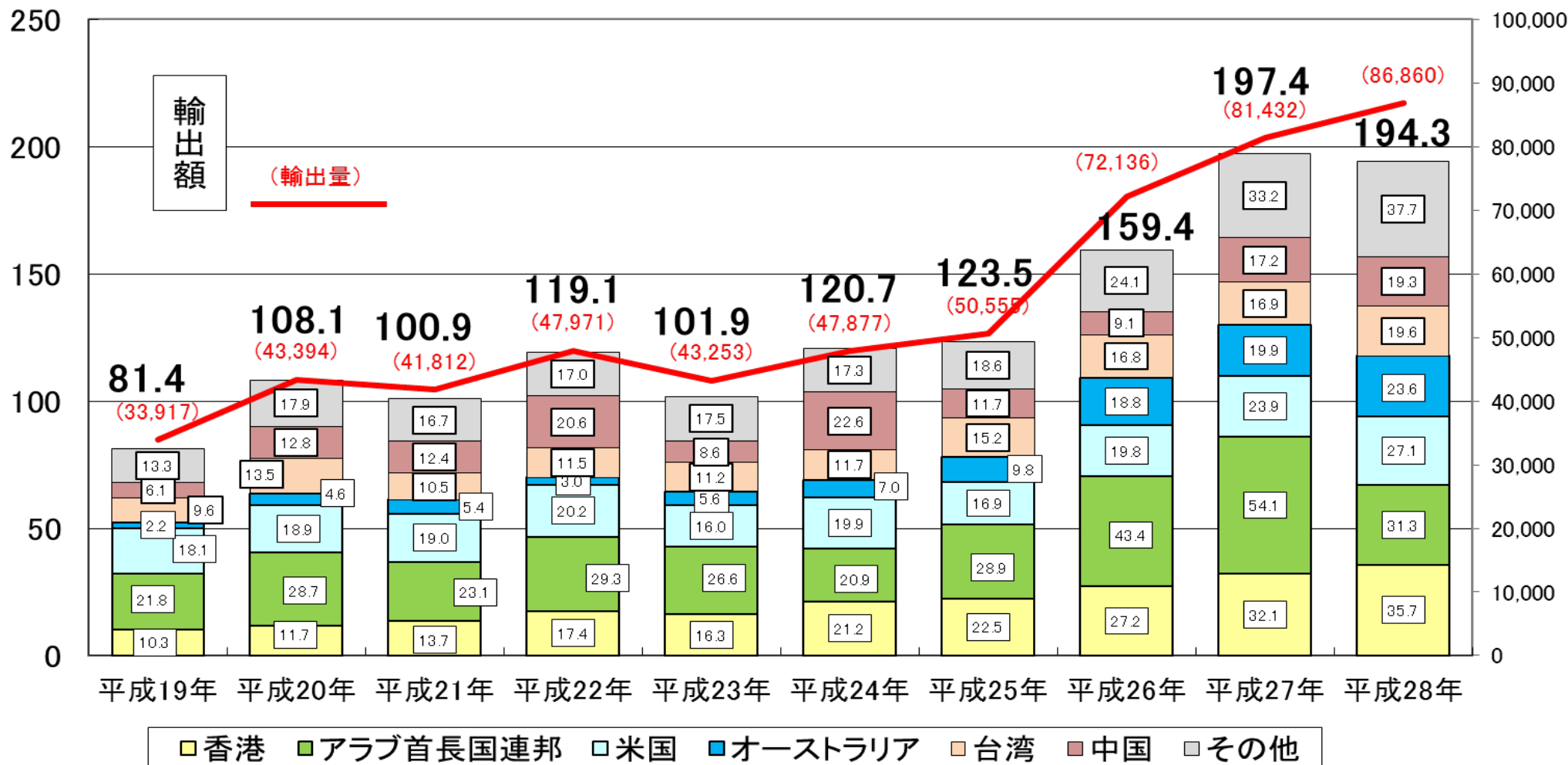
清涼飲料水の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、平成27年まで増加傾向であったが、平成28年は最大の輸出先であったアラブ首長国連邦向けが減少した影響により減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キロリットル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

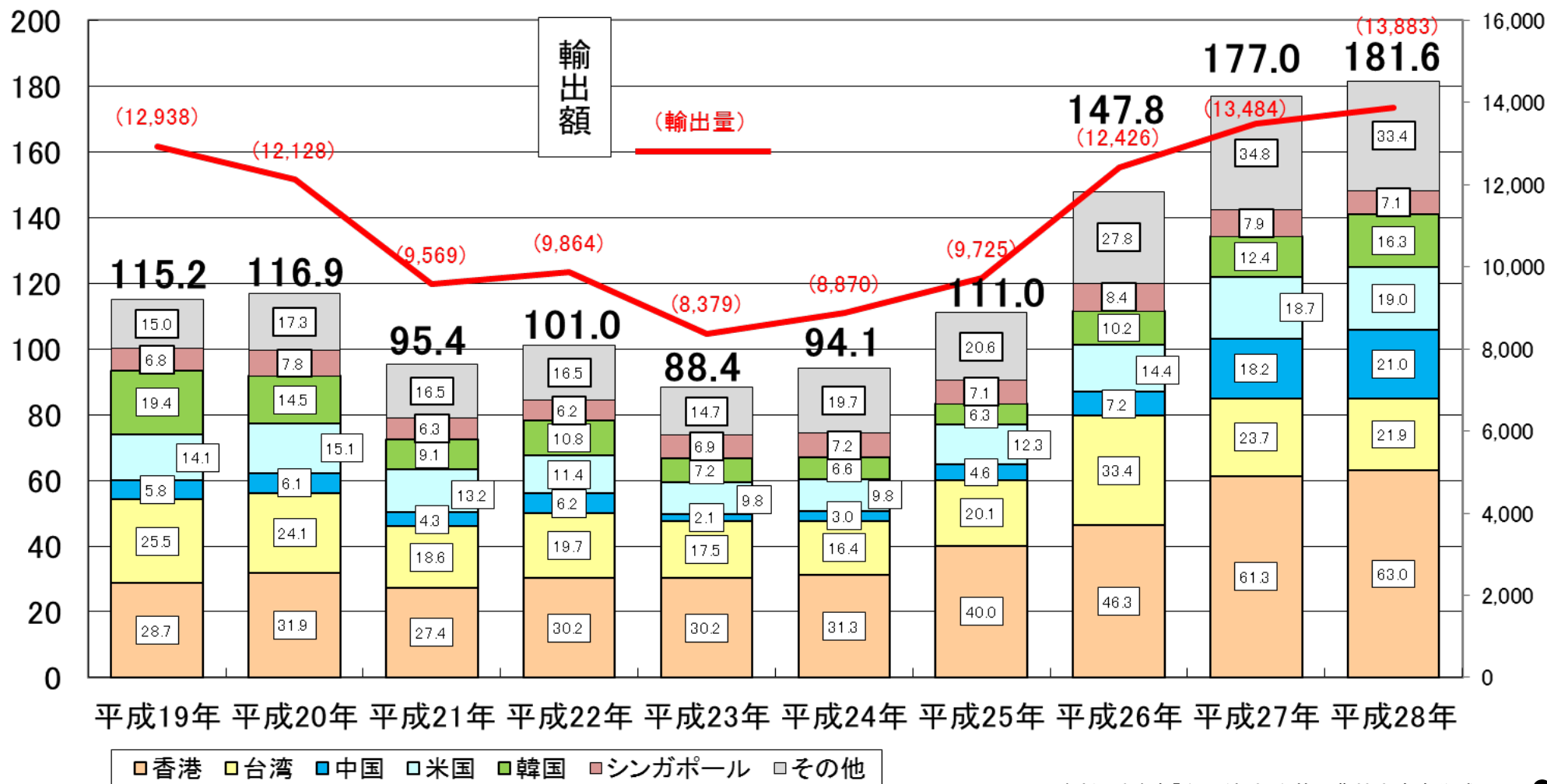
菓子(米菓除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 日本産菓子は、高品質なものと認識されており、香港、中国を中心に近年、輸出が伸びている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

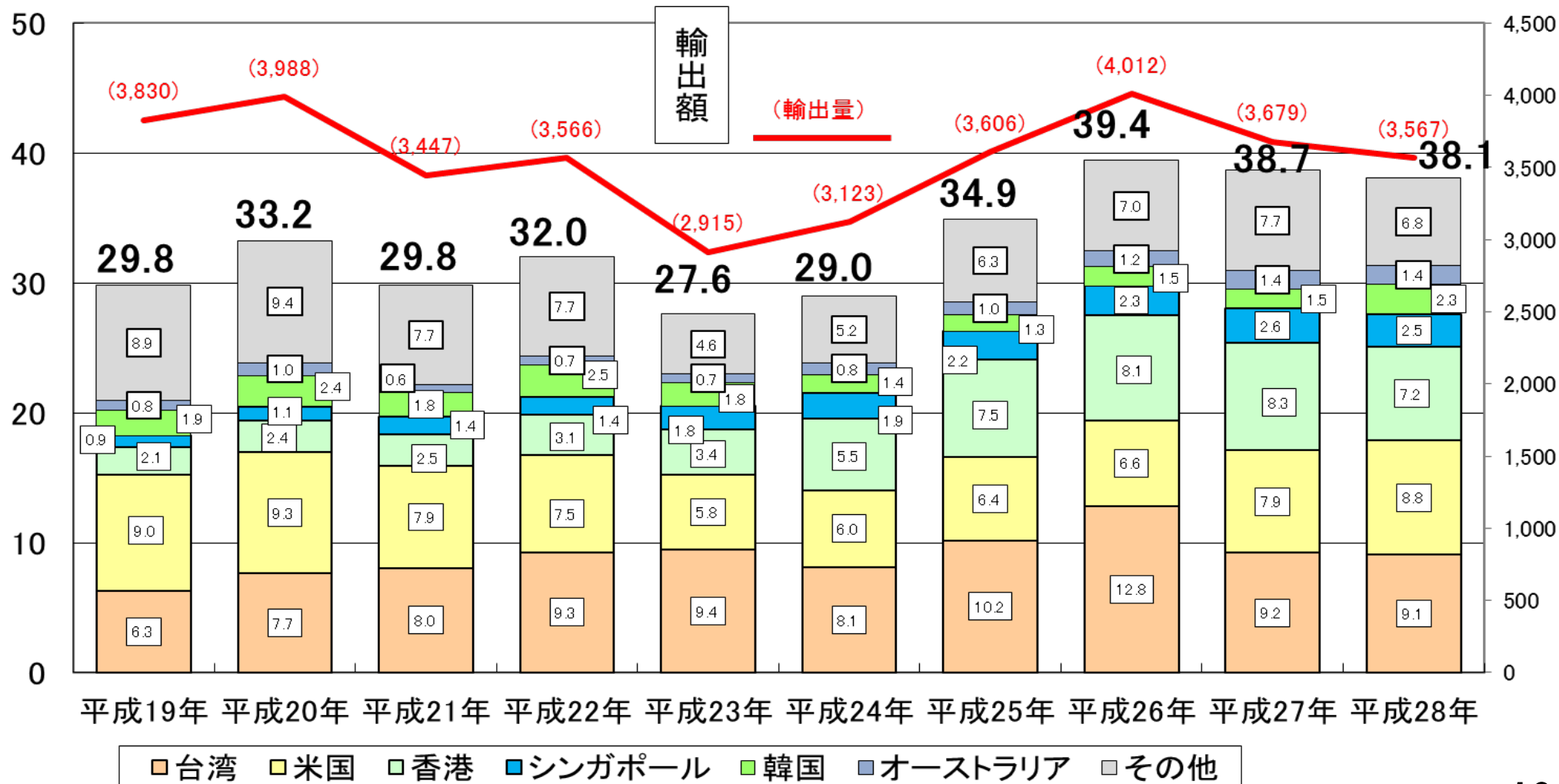
米菓の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 米菓の輸出額は、台湾、米国、香港、シンガポール、韓国、オーストラリア向けで全体の約8割を占める。
- 平成27年は、台湾における輸入規制強化の影響を受け、対前年比で減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

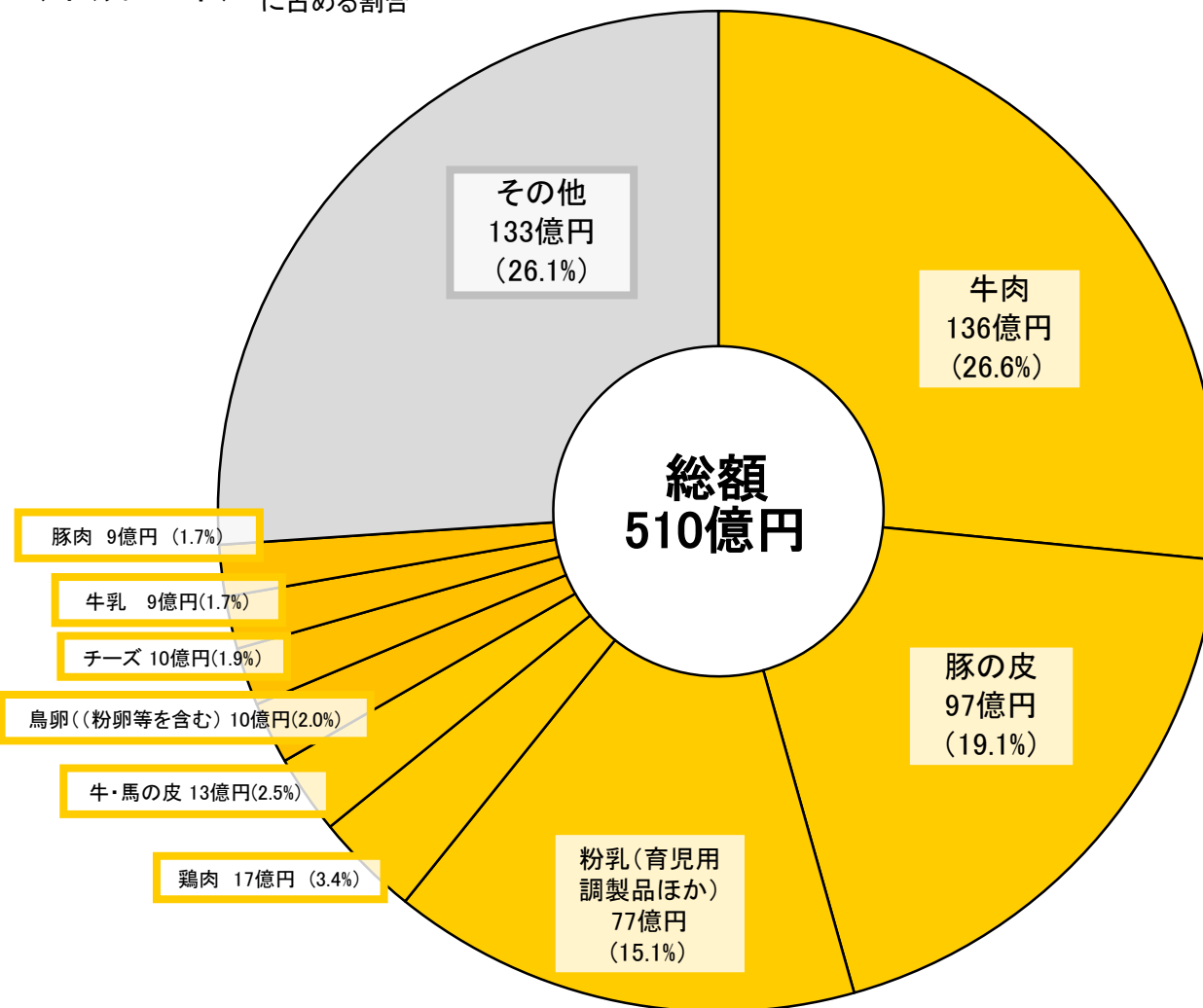
畜産品の内訳

MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、牛肉、粉乳の輸出が大幅に増加。

(平成28年) ※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)



品目名	平成27年	平成28年	増減率
牛肉	110.0	135.5	23.1%
豚の皮	90.0	97.4	8.2%
粉乳(育児用調製品ほか)	55.5	77.3	39.2%
鶏肉	16.6	17.2	3.6%
牛・馬の皮	25.3	13.0	▲48.6%
鳥卵(粉卵等を含む)	8.9	10.2	14.8%
チーズ	8.3	9.6	15.7%
牛乳	7.2	8.6	19.4%
豚肉	8.1	8.5	4.6%
その他	139.7	133.1	▲4.8%
畜産品計	469.8	510.4	8.7%

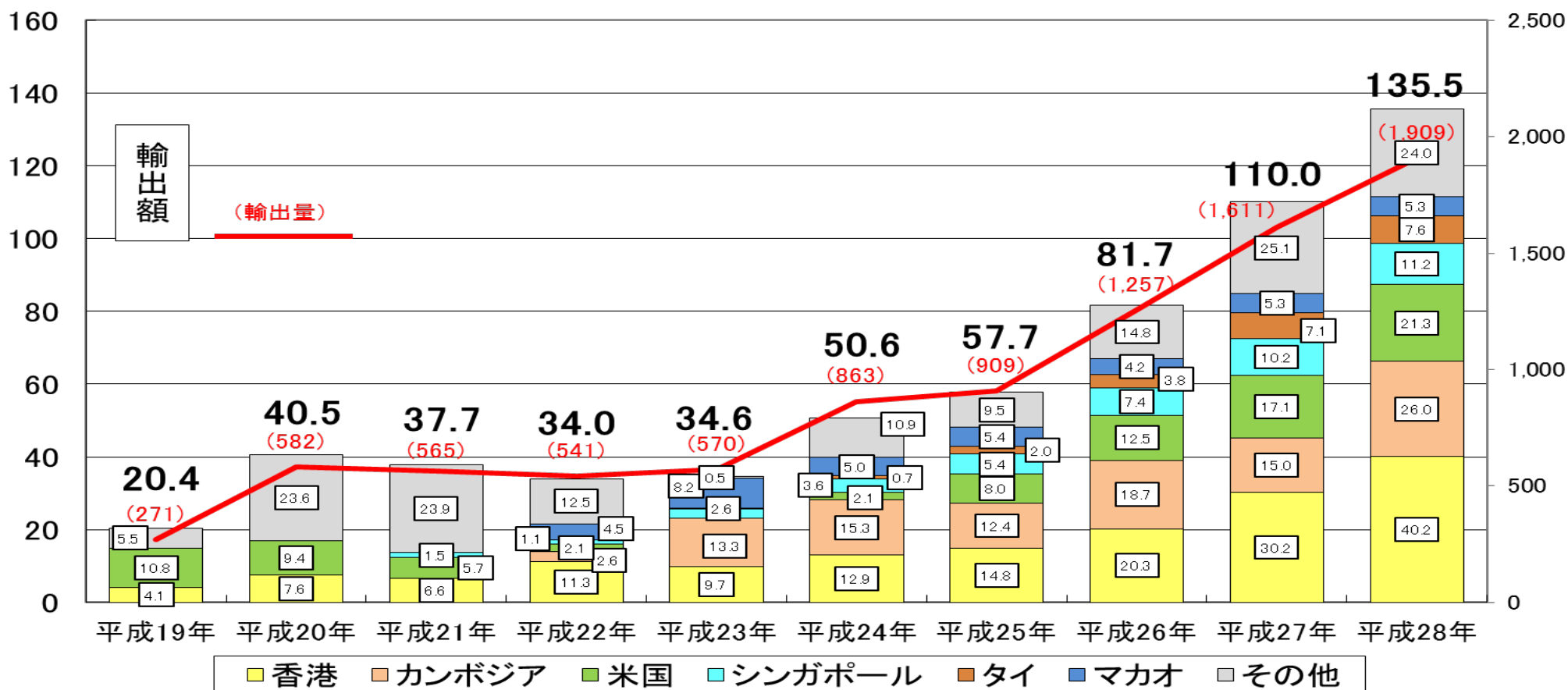
牛肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 主要な輸出先国は、香港、カンボジア、米国、シンガポール。
- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年の対米輸出再開、平成26年の対EU輸出解禁等により輸出可能国が増加するとともに、輸出団体等のプロモーション効果等もあり、近年、輸出は順調に伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

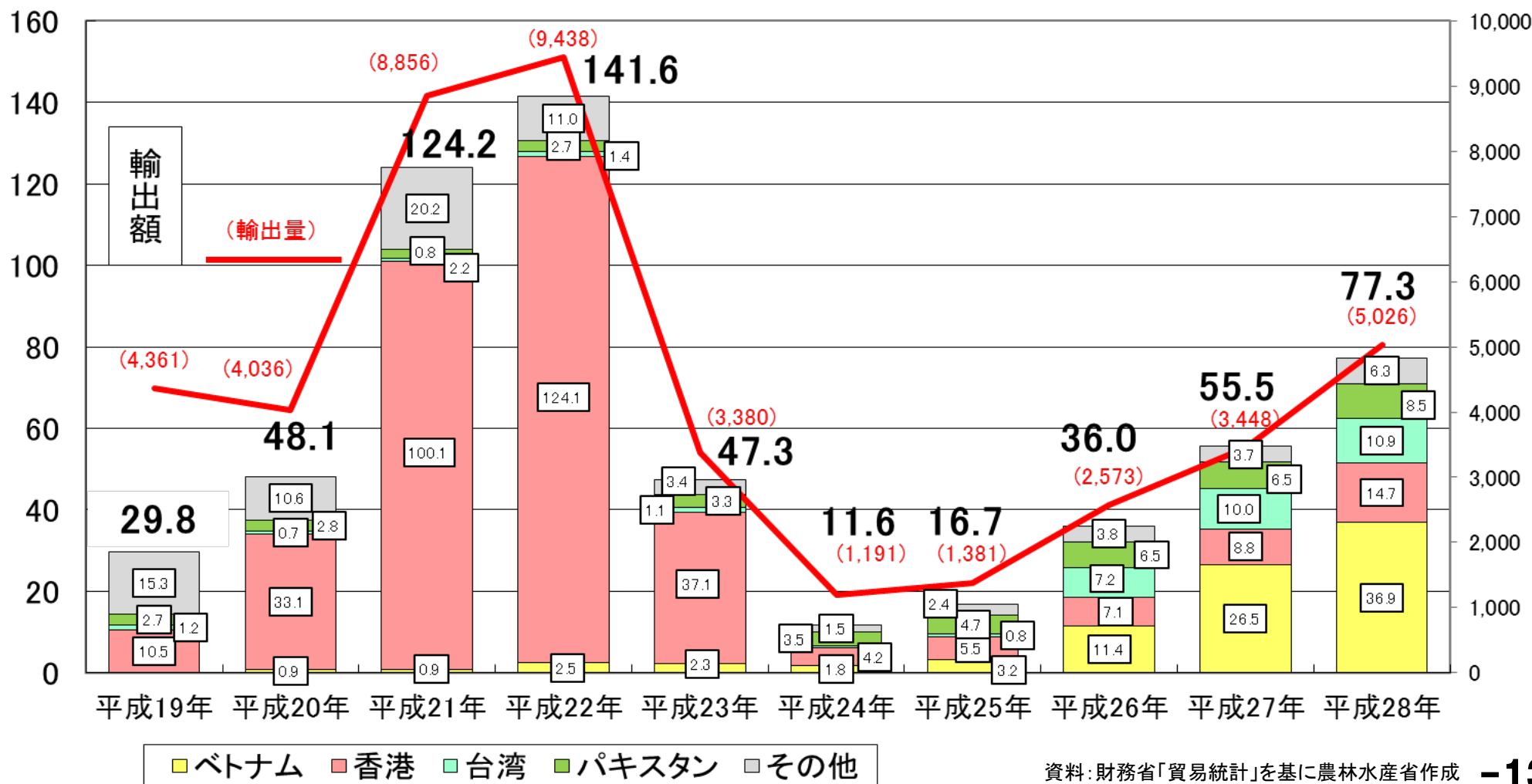
粉乳(育児用調製品ほか)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳(育児用調製品ほか)に対する需要増により輸出額が増加。その後、東京電力福島第一原発の事故等の影響により輸出額は大きく減少したが、平成25年から回復傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



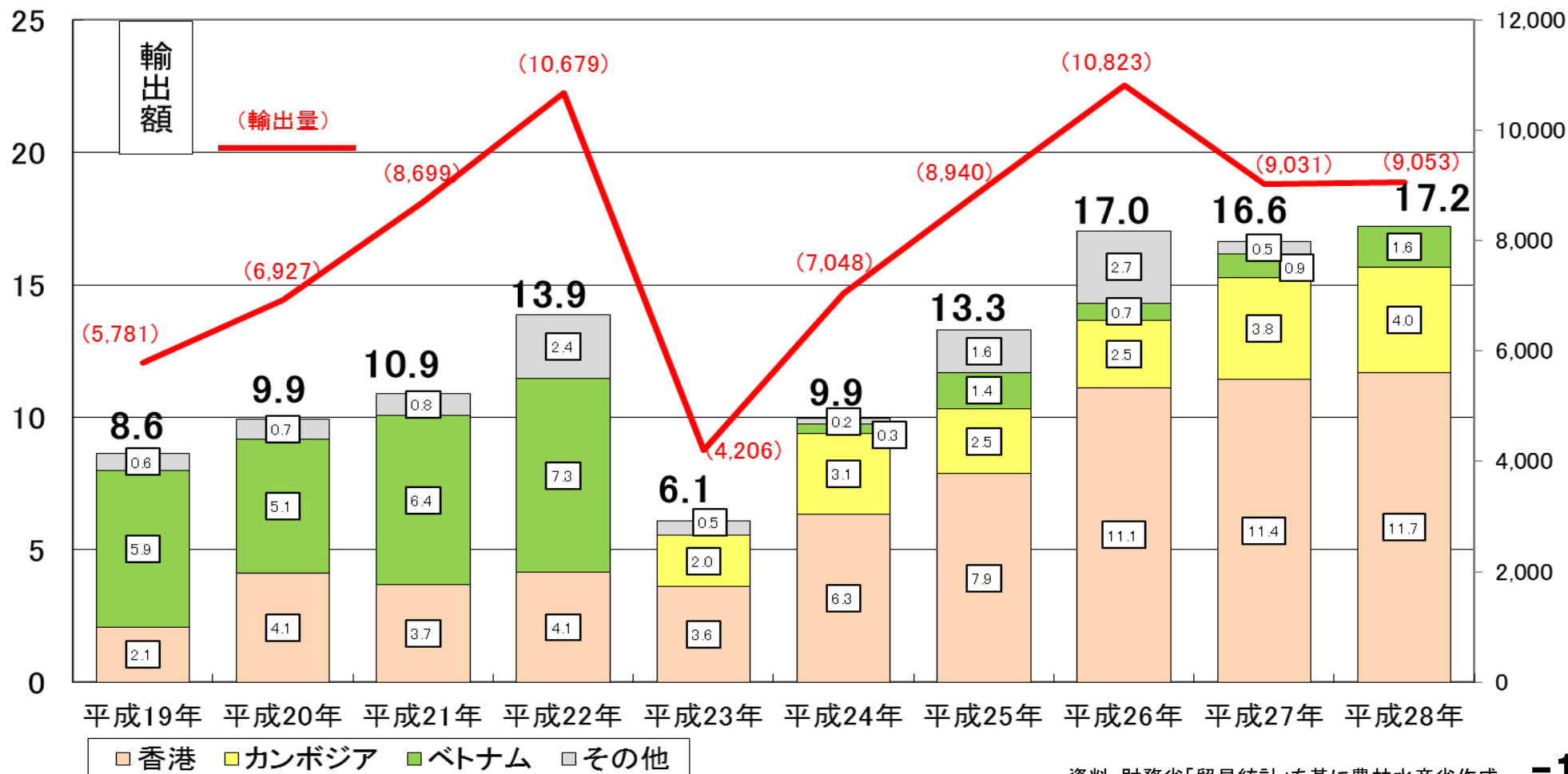
鶏肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏肉の輸出は香港向けのシェアが多いところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を超えて伸びている。
- 平成26年末及び平成28年11月に発生した鳥インフルエンザの影響により、一部の輸出先国への輸出が停止したこと等から、近年、伸び悩みの傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

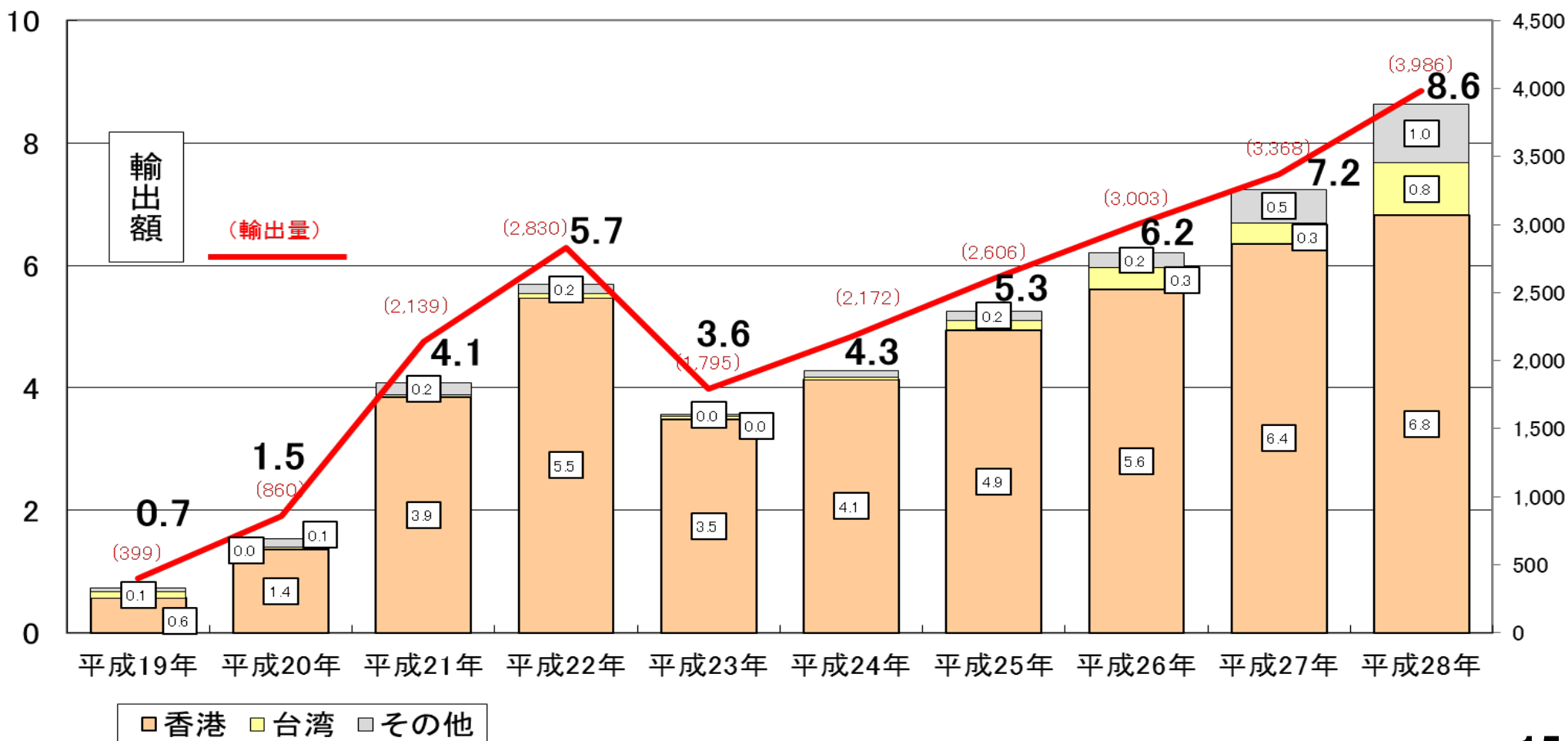
牛乳の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、平成23年の東京電力福島第一原発の事故等の影響により、輸出額は大きく減少したものの、平成24年以降、再び増加し、平成27年からは震災前の水準を超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

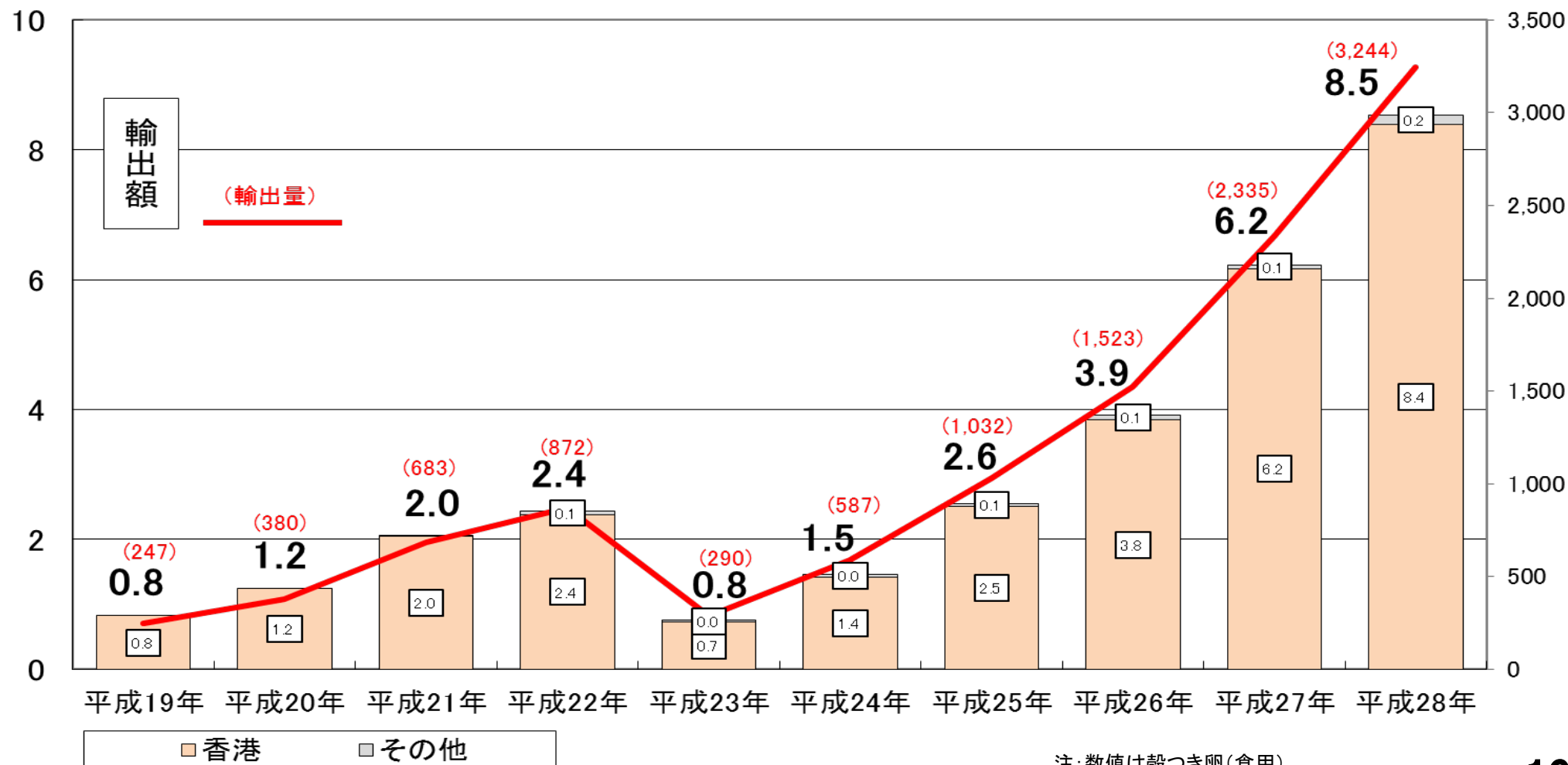
鶏卵の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 鶏卵の輸出は香港向けが大半を占めているところ。
- 東日本大震災の影響を受けて一時減少したが、その後、震災前の水準を大きく超えて伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



注: 数値は殻つき卵(食用)
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

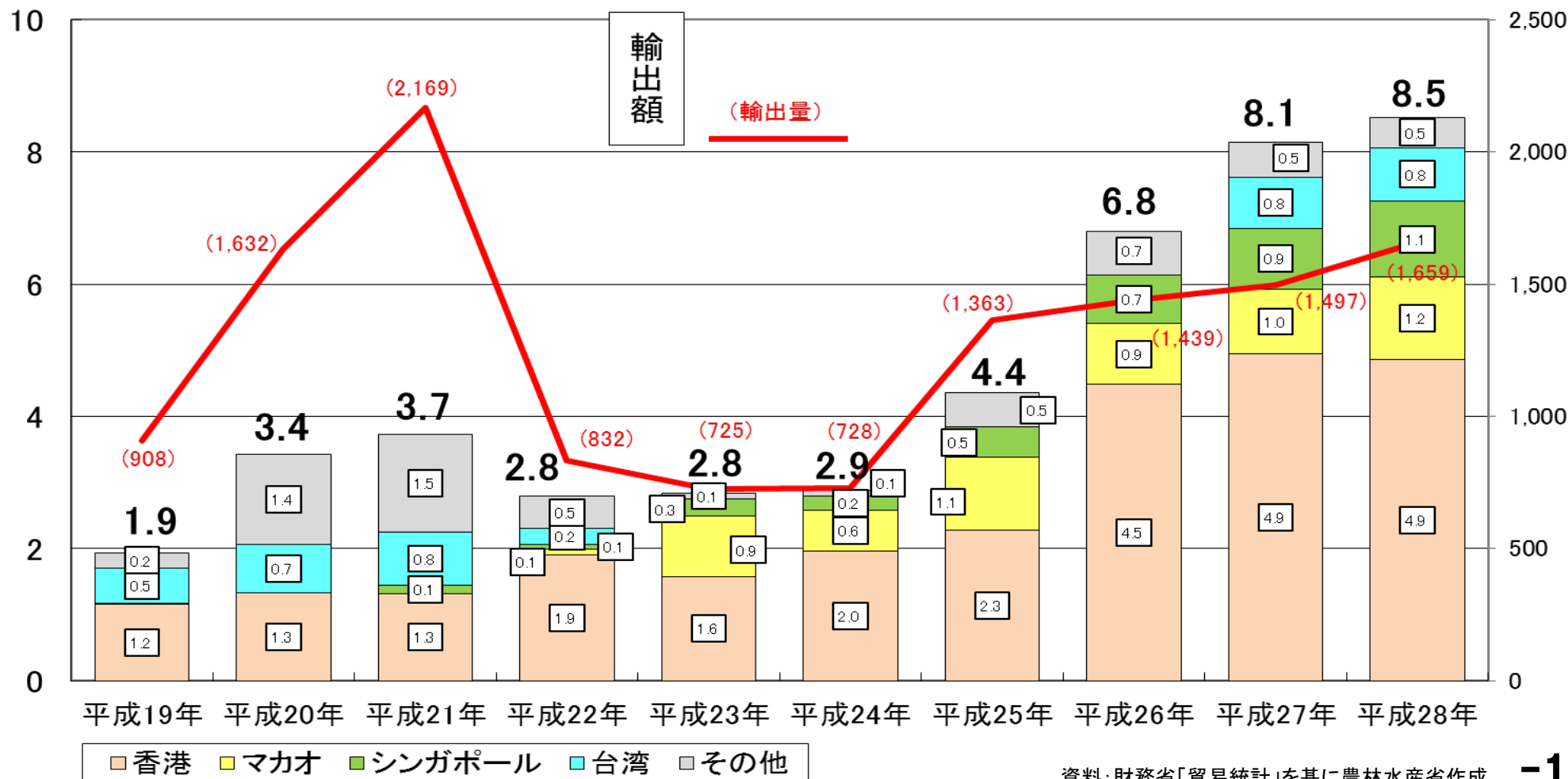
豚肉の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 豚肉の輸出は、香港をはじめ、マカオ、シンガポール、台湾向けが大半を占めているところ。
- 平成22年から24年にかけて、口蹄疫発生、原発事故等の影響により輸出が停滞したが、平成25年には回復。
- 平成26年以降、日本食レストランに対し和牛と合わせて売り込む等により、香港、シンガポール向けの輸出が増加しているところ。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

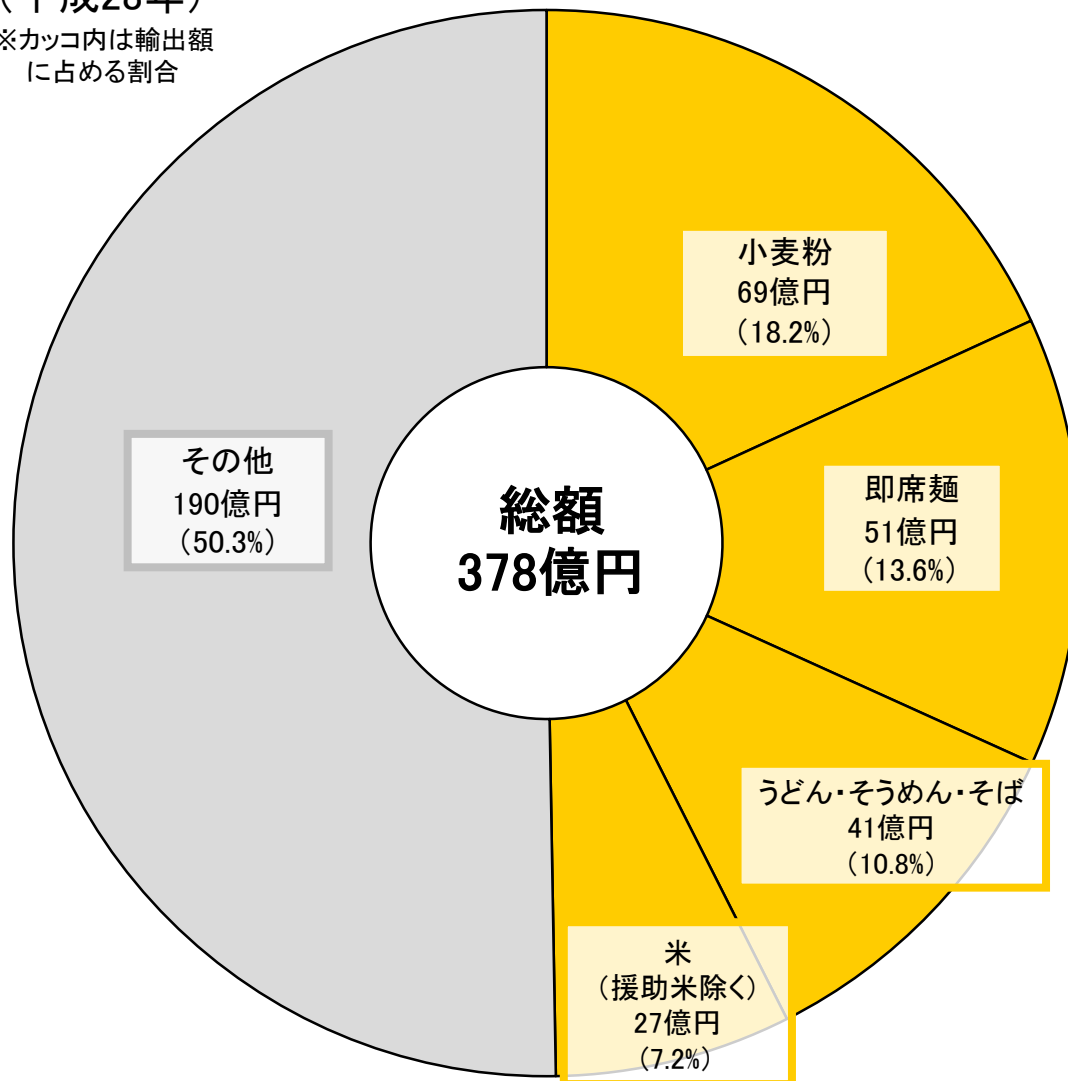
穀物等の内訳

MAFF

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成27年	平成28年	増減率
小麦粉	78.6	68.6	▲12.7%
即席麺	42.8	51.4	20.3%
うどん・そうめん・そば	38.1	40.8	7.1%
米(援助米除く)	22.3	27.1	21.2%
その他	186.6	190.0	1.8%
穀物等計	368.4	377.9	2.6%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

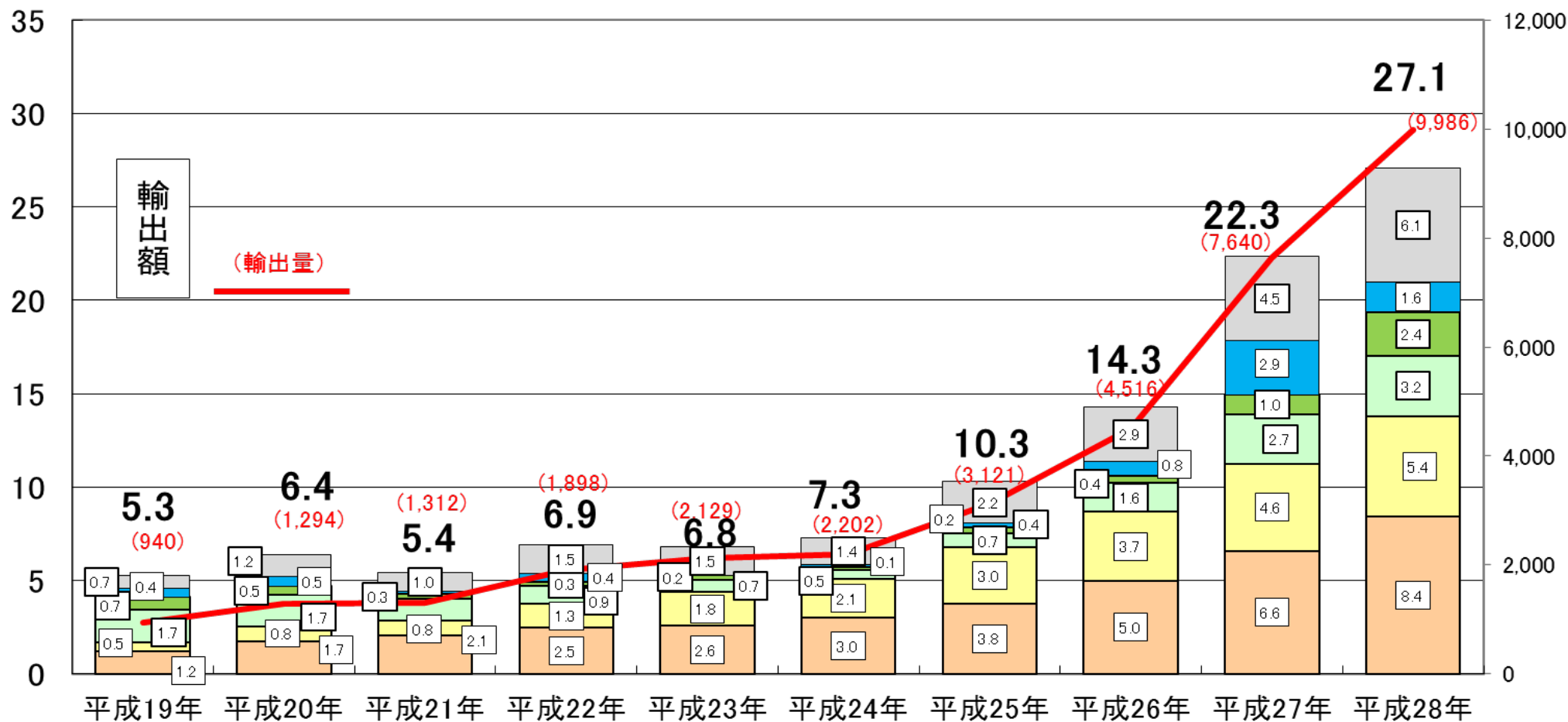
米(援助米除く)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポール、台湾、米国向けが牽引して増加傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



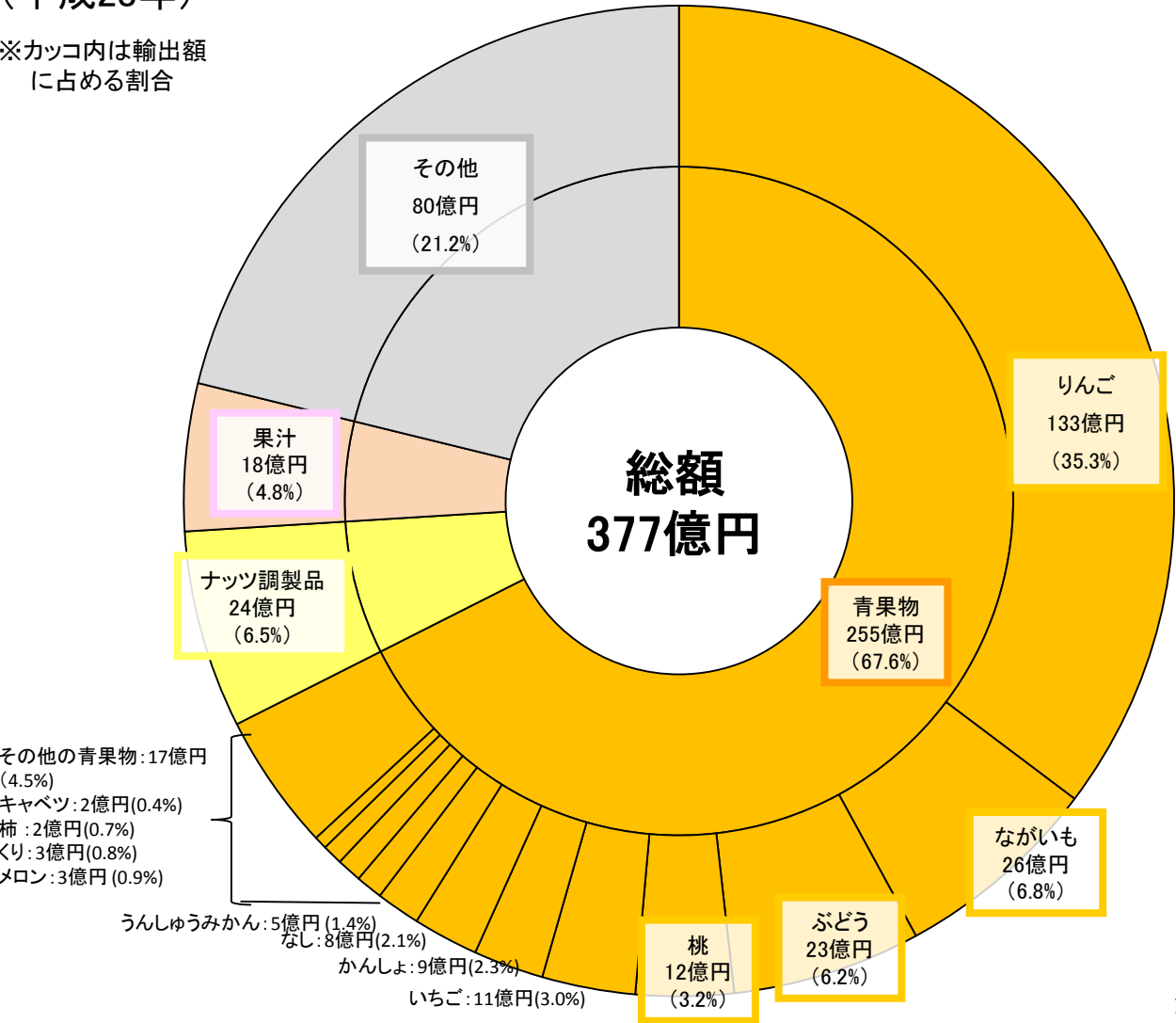
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

野菜・果実等の内訳

● 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ながいも、ぶどうの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成27年	平成28年	増減率
青果物	235.0	254.8	8.4%
りんご	133.9	133.0	▲0.7%
ながいも	26.3	25.6	▲2.7%
ぶどう	15.4	23.2	50.4%
桃	10.9	12.0	10.8%
いちご	8.5	11.5	35.3%
かんしょ	5.9	8.7	47.3%
なし	7.2	8.1	11.9%
うんしゅうみかん	6.1	5.4	▲11.1%
メロン	2.8	3.3	18.4%
くり	1.1	3.1	183.4%
柿	3.0	2.5	▲17.6%
キャベツ	1.1	1.6	42.3%
その他の青果物	12.8	16.8	31.3%
ナッツ調製品	20.2	24.3	20.7%
果汁	16.3	18.1	11.4%
その他	78.9	79.8	1.2%
野菜・果実等計	350.4	377.1	7.6%

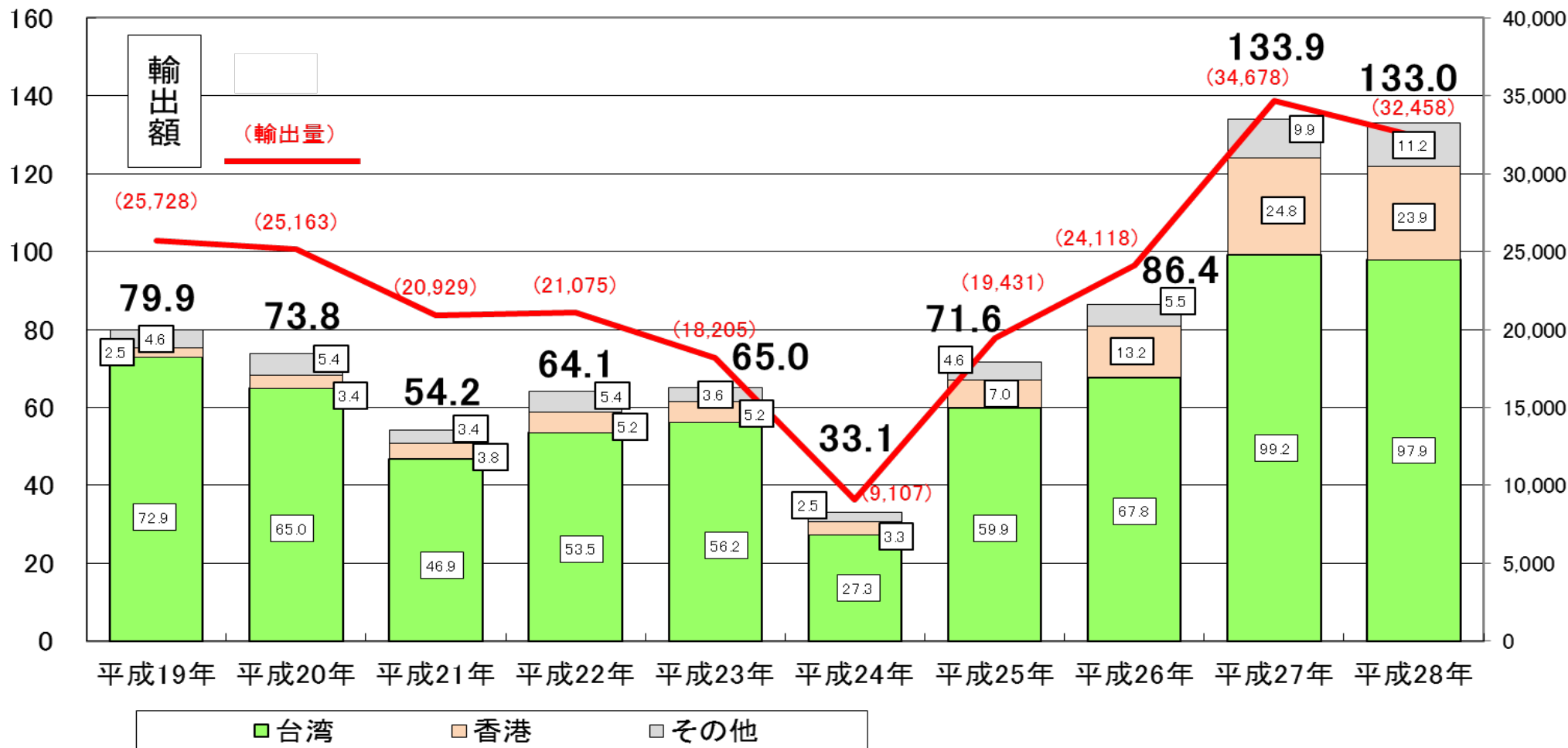
りんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- りんごは果実輸出の主力産品であり、台湾向けが中心。平成26年及び27年ともに作柄が良く、品質が高く評価され、輸出が伸びたが、平成28年は、①生産量の減少により価格が高めに推移したこと、②特に、贈答用の高品質な大玉が少なかったこと等が原因で減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

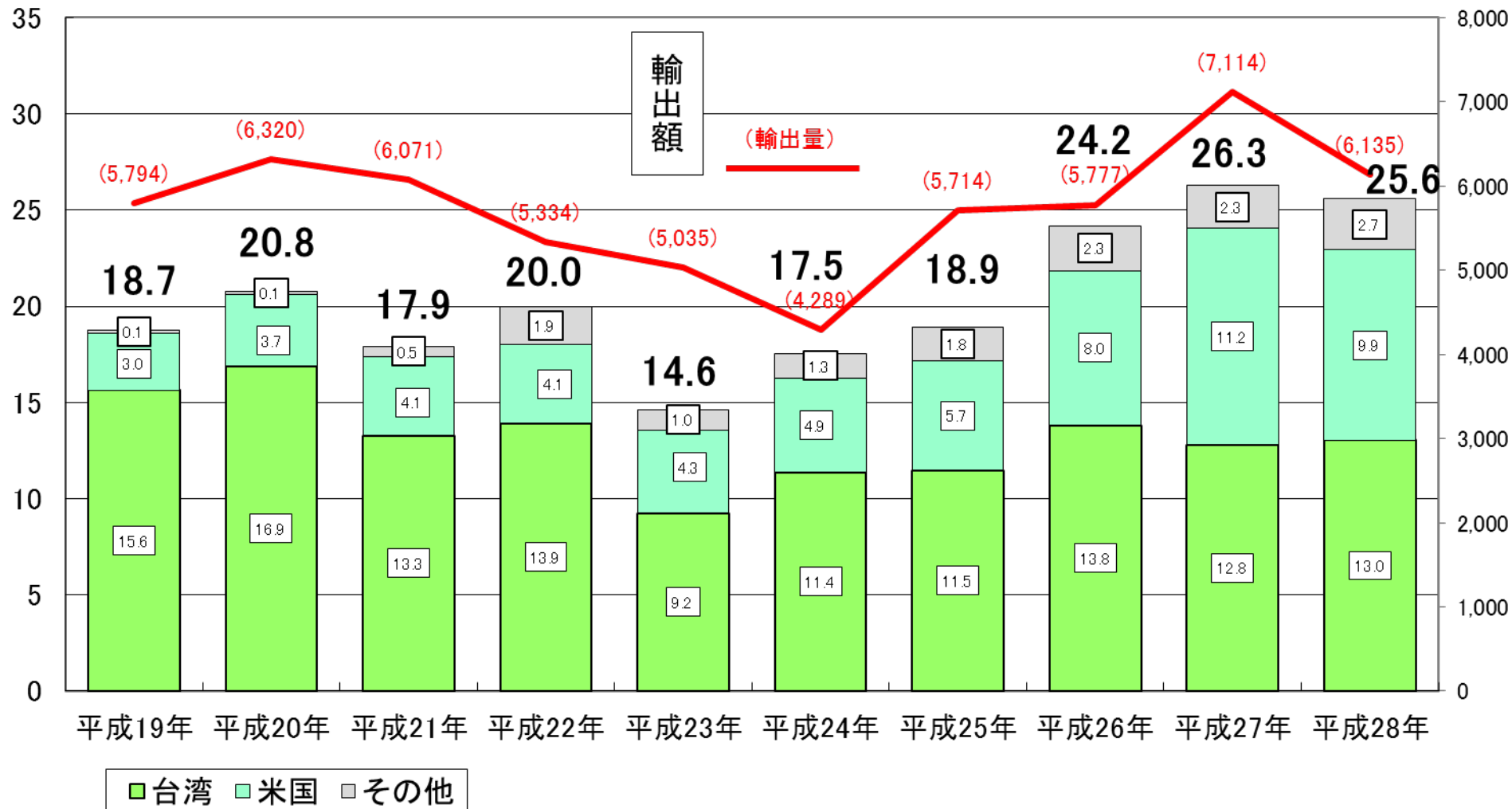
ながいもの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ながいものは、野菜輸出の主力産品であり、震災後、増加傾向。主に台湾、米国向けに輸出。平成28年は台風の影響による作柄不良で減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

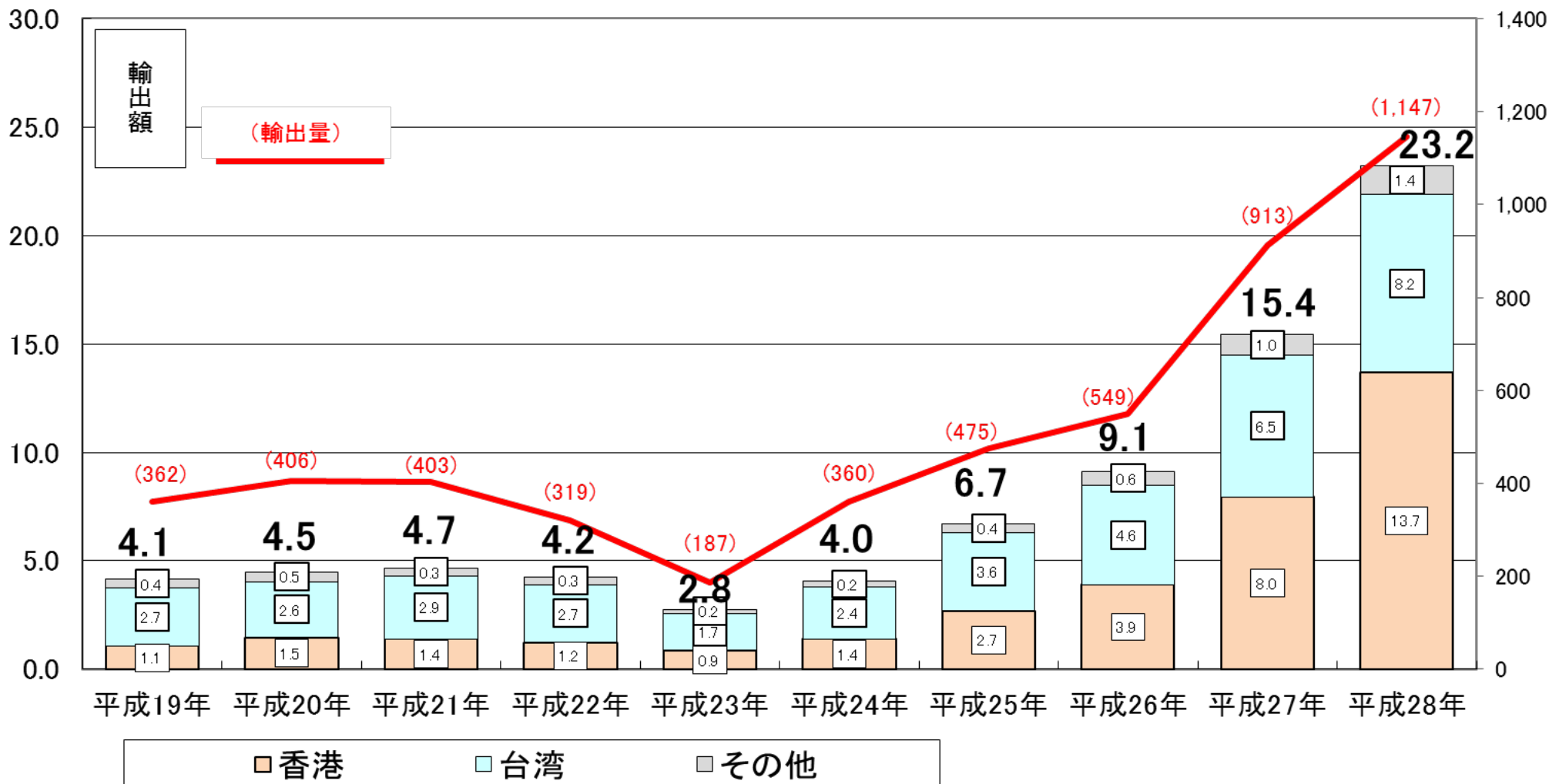
ぶどうの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶどうの輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

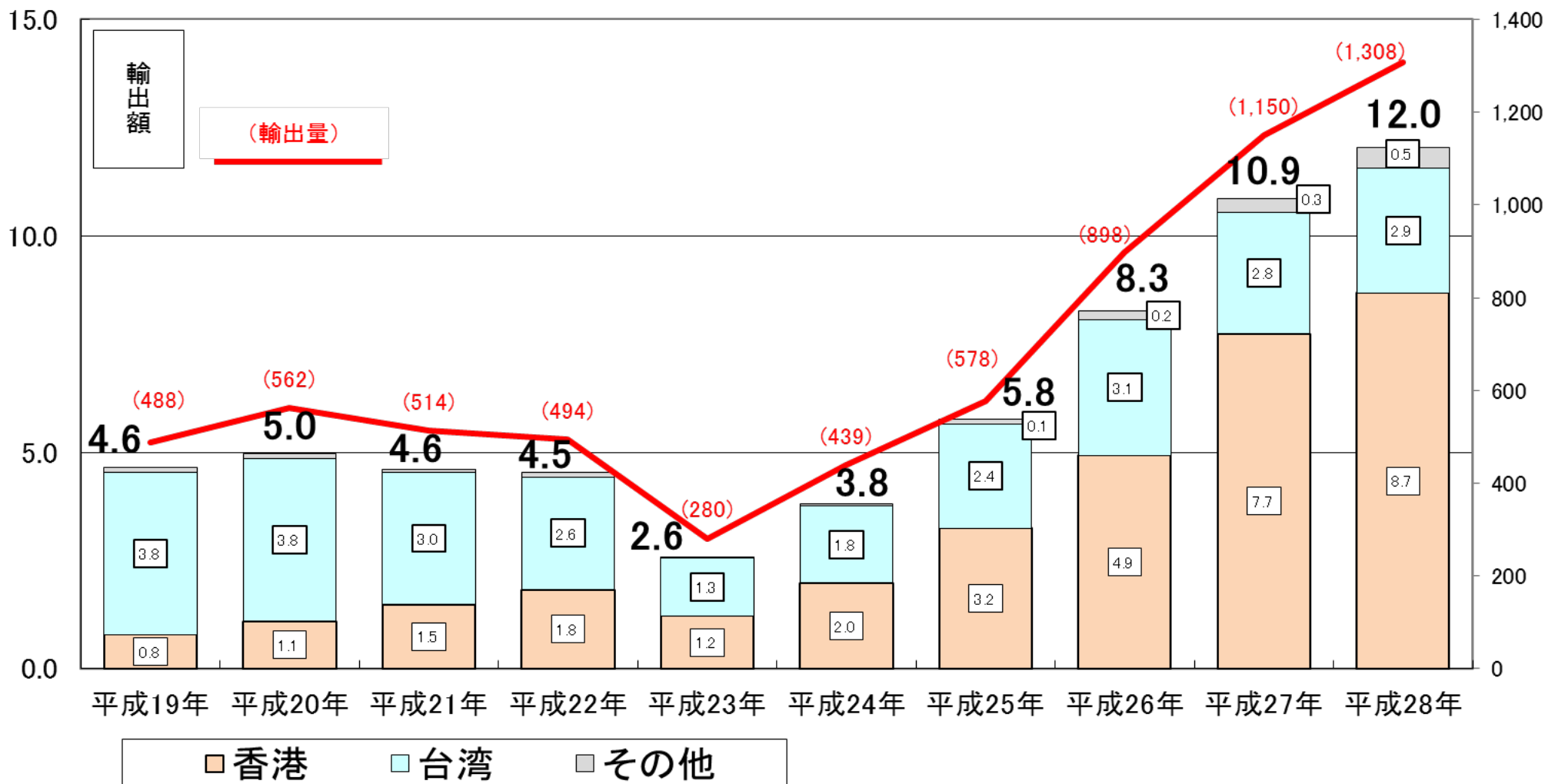
桃の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 桃の輸出額は、香港、台湾向けが多く、平成24年以降、大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

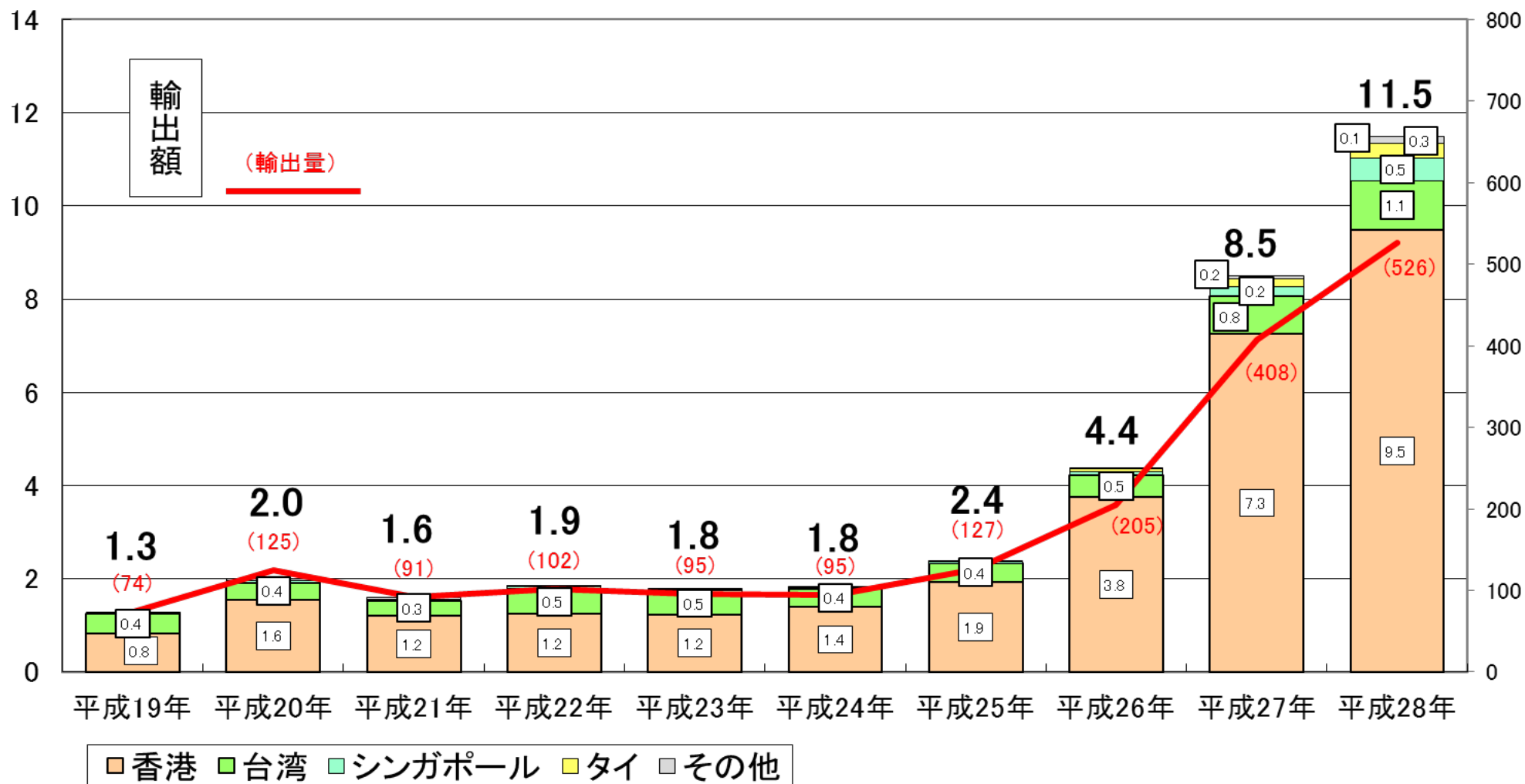
いちごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●いちごは、香港向けが多く、平成24年以降、大きく伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

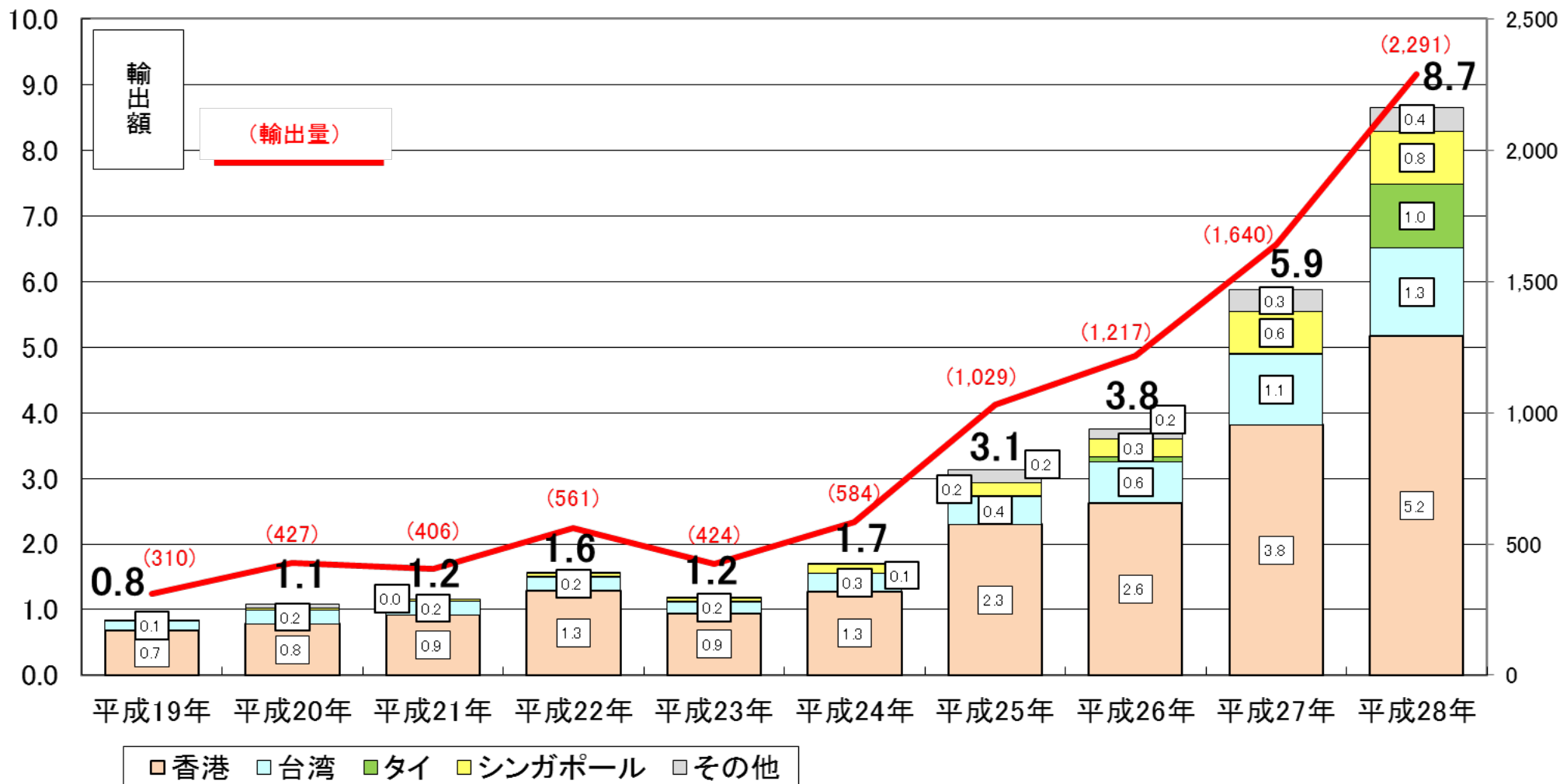
かんしょの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●かんしょは、主に香港、台湾向けが中心。なお、平成28年にはタイ向けも急増。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

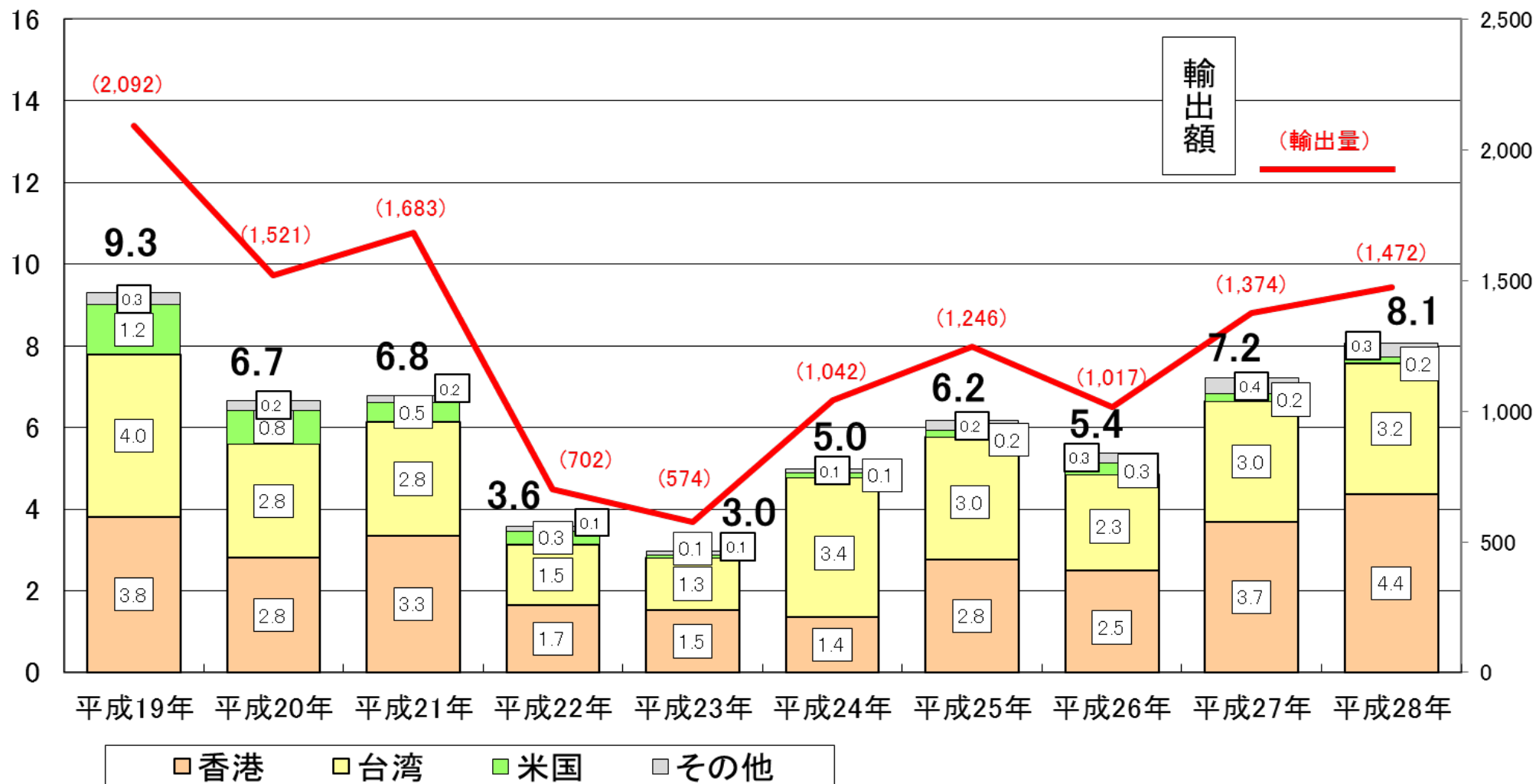
なしの輸出額・輸出货量及び輸出先国の推移

MAFF

- なしは、主に香港、台湾向けの輸出が多い。

(輸出額: 億円)

(輸出货量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

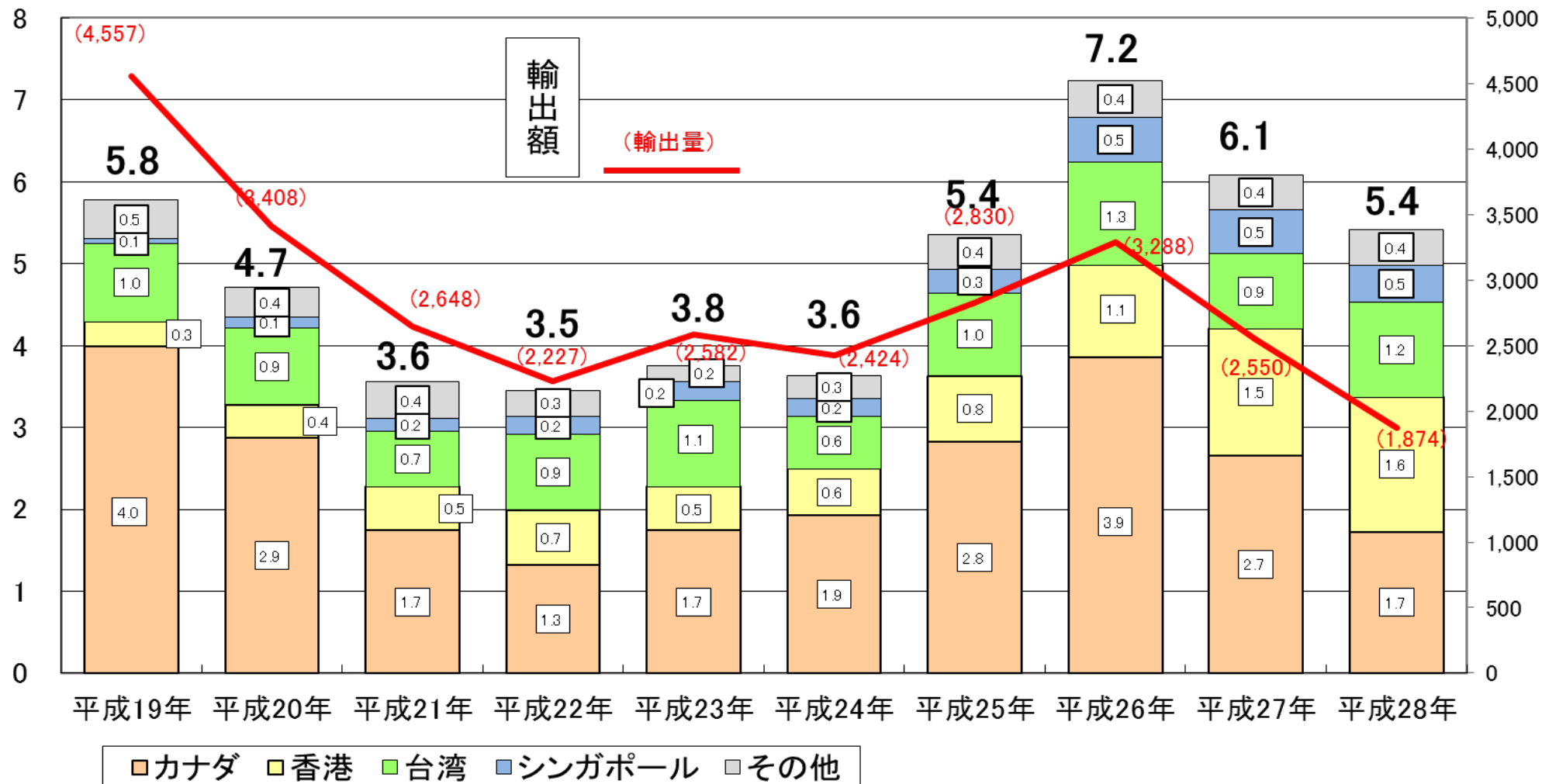
うんしゅうみかんの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- うんしゅうみかんの輸出額は、カナダ、香港、台湾向けが多い。平成28年は天候不良の影響で生産量が少なく、国内出荷に回される割合が高くなった影響を受け減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

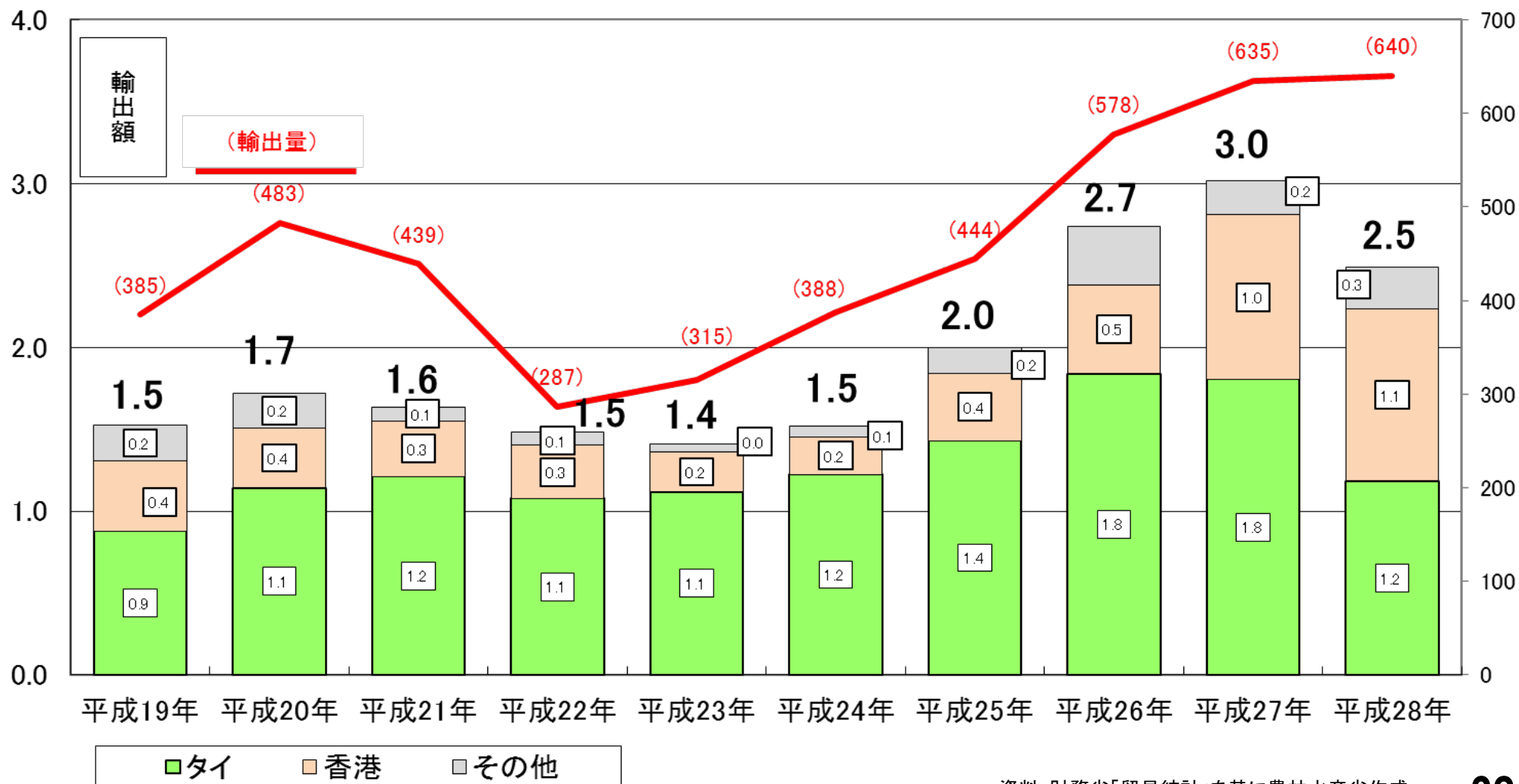
柿の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 柿の輸出額は、タイ、香港向けが多い。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



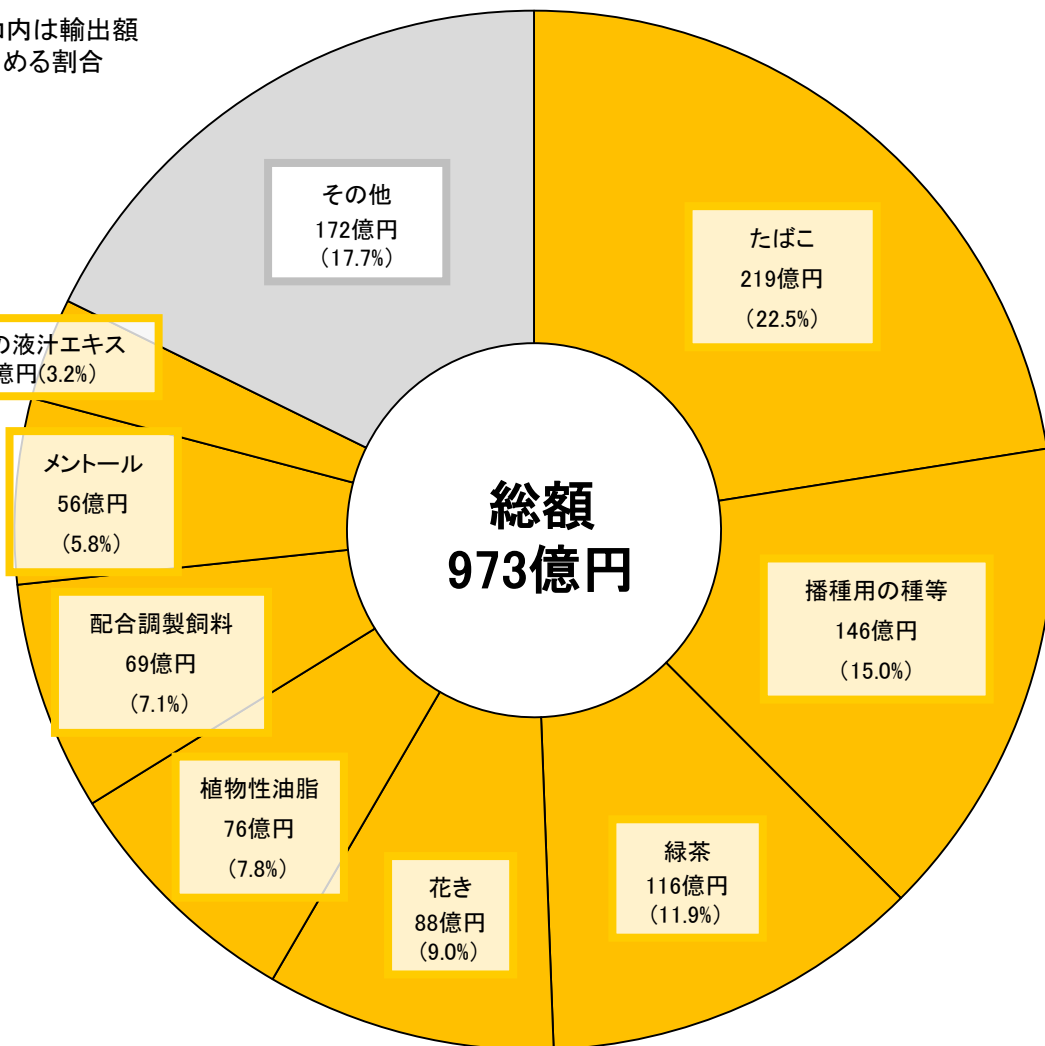
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

その他農産物の内訳

- その他の農産物では、たばこ、播種用の種等、緑茶などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成27年	平成28年	増減率
たばこ	235.9	218.7	▲7.3%
播種用の種等	151.4	146.2	▲3.4%
緑茶	101.1	115.5	▲14.3%
花き	81.2	87.5	7.7%
植木等	76.1	80.3	5.6%
切花	5.1	7.2	39.7%
植物性油脂	79.3	75.8	▲4.4%
ごま油	54.9	56.7	3.4%
菜種油・からし種油	2.4	2.5	3.9%
ひまし油	2.5	2.4	▲6.0%
大豆油	3.5	0.9	▲73.8%
パーム油	0.4	0.4	1.7%
あまに油	0.1	0.1	2.3%
配合調製飼料	82.5	69.4	▲15.8%
メントール	70.3	56.1	▲20.2%
植物の液汁エキス	30.6	30.9	1.0%
その他	189.6	172.4	▲9.1%
その他農産物計	1,021.9	972.7	▲4.8%

※「メントール」・・・ハッカから抽出される成分で、チューインガムや歯磨き等に使用。

※「植物の液汁エキス」・・・用途は健康食品や化粧品など。

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

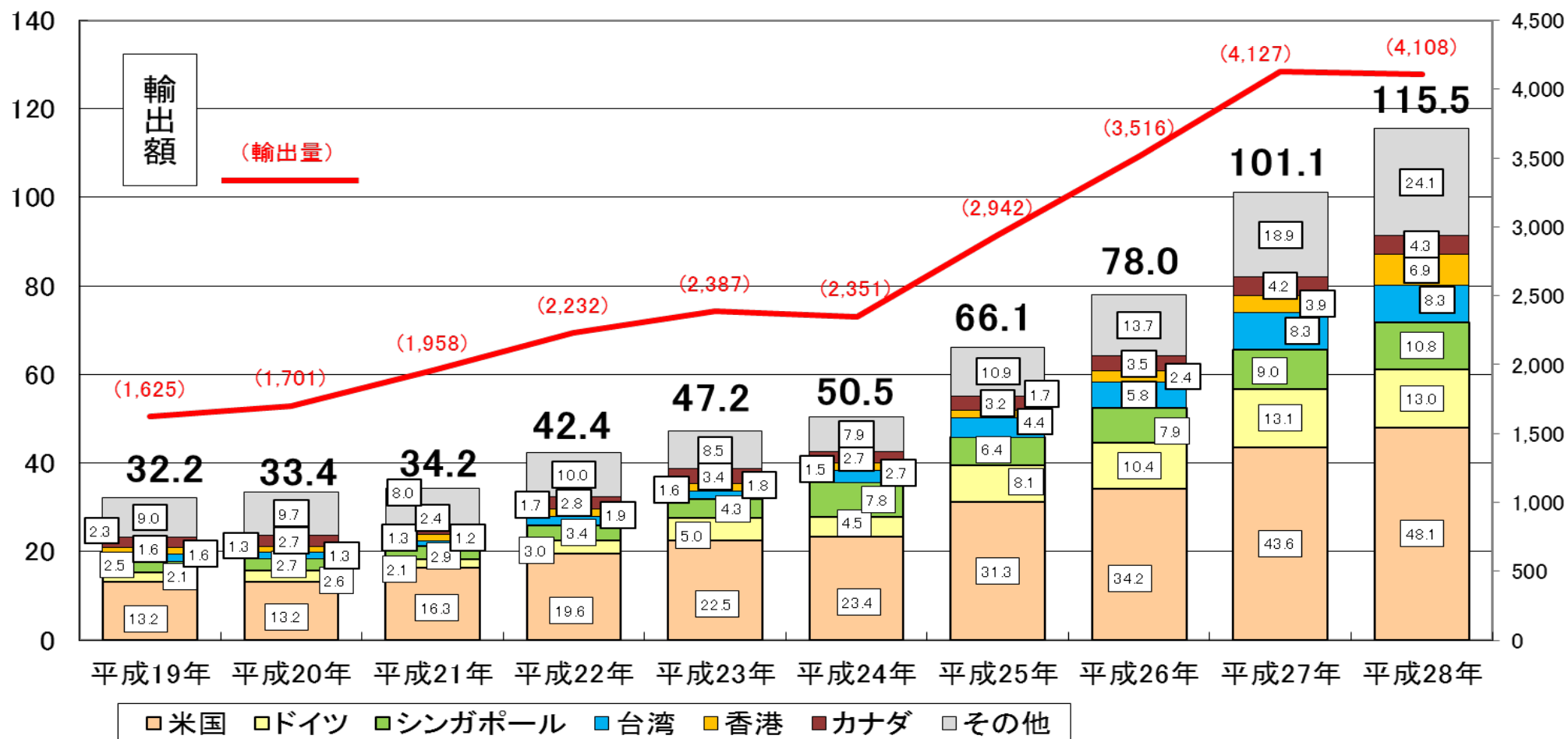
緑茶の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 緑茶の輸出額は、順調に増加しており、米国向けの輸出額が多い。
- 各国における健康志向の高まりにより、緑茶の効能が受け入れられていることや、飲用だけでなく料理やデザート等、加工向けに抹茶を用いる等、用途が広がっていることで、輸出が伸びている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



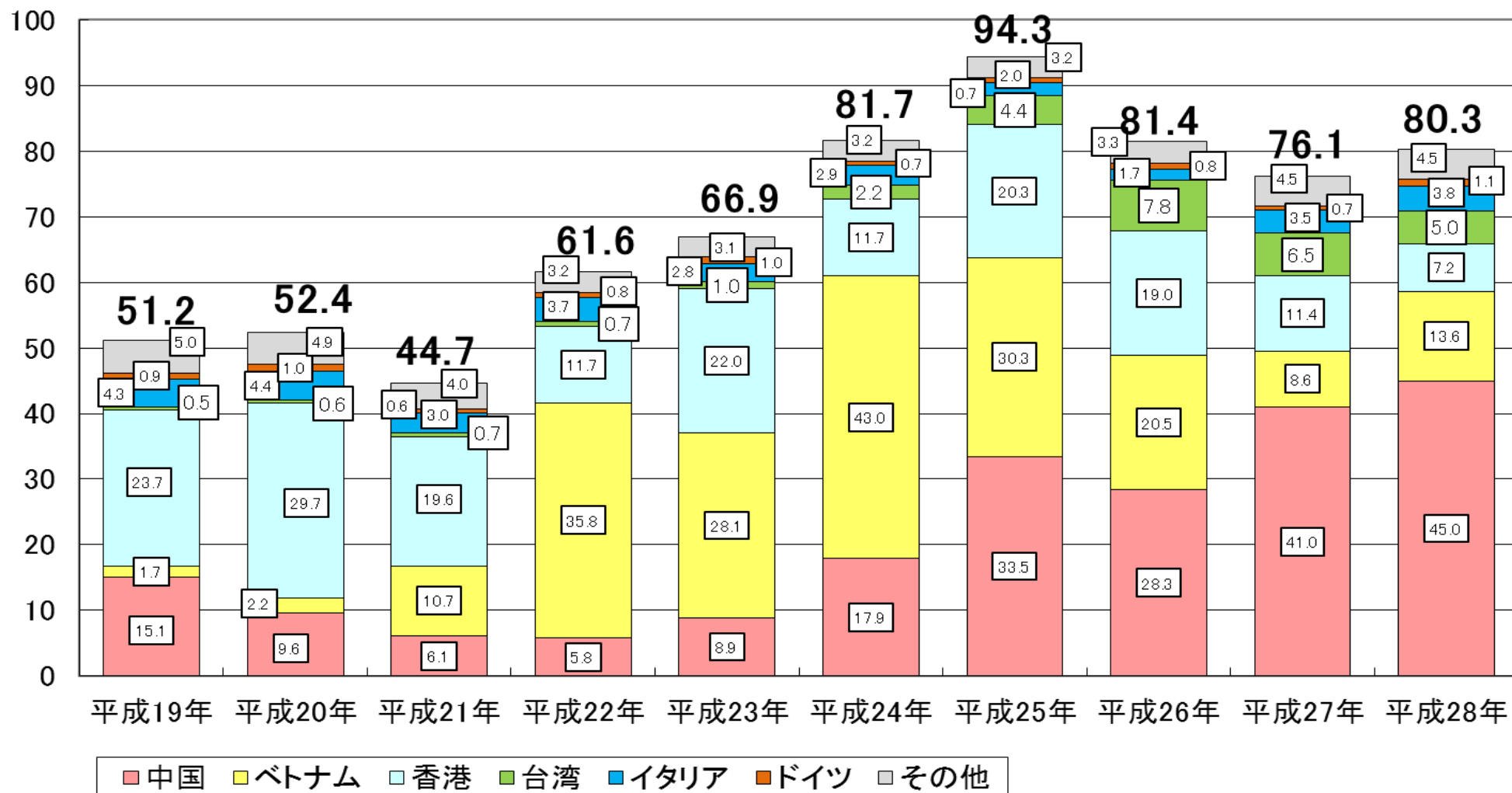
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

植木等の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

●植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出額は、中国、ベトナム、香港、台湾向けで全体の約9割を占める。

(輸出額: 億円)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

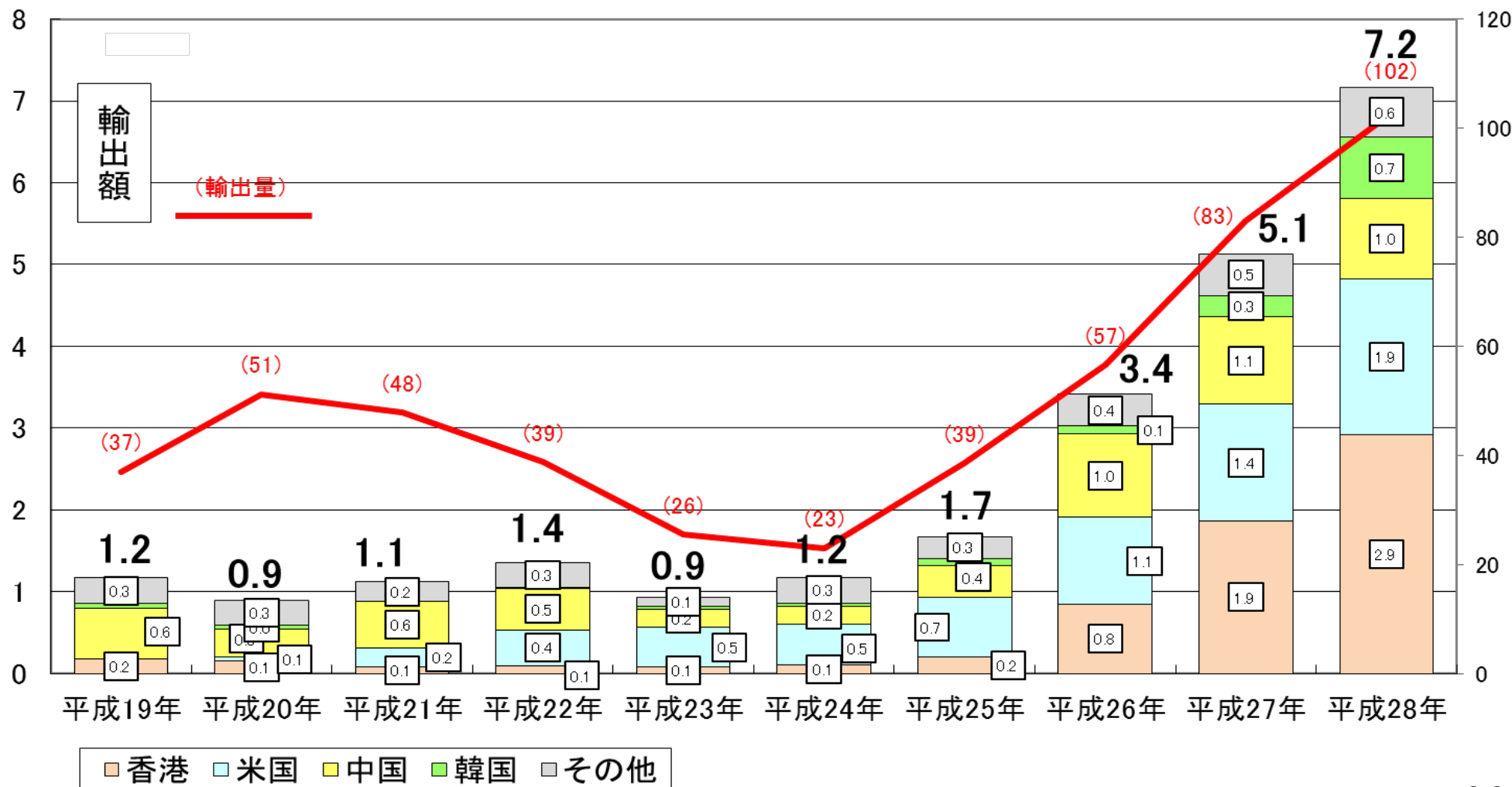
切花の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 切花の輸出額は、香港、米国、中国、韓国向けで全体の約9割を占める。近年増加傾向にある中、平成26年から大きく伸び、平成28年には過去最高を更新。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



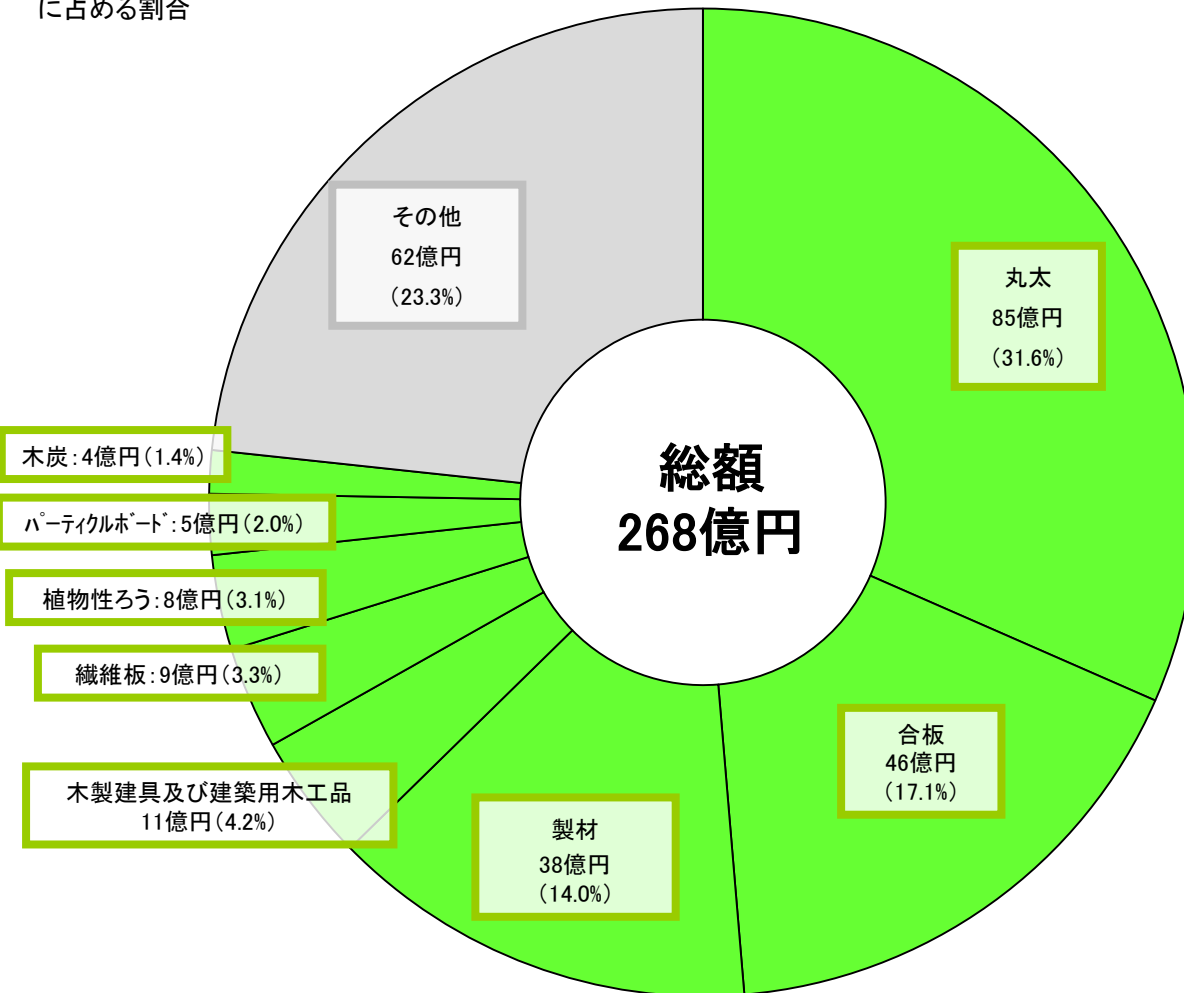
林産物の内訳

MAFF

- 林産物の品目別内訳をみると、丸太、合板及び製材の割合が多い。

(単位: 億円)

(平成28年)
※カッコ内は輸出額
に占める割合



品目名	平成27年	平成28年	増減率
丸太	94.2	84.7	▲10.1%
合板	21.5	45.8	112.8%
製材	32.7	37.5	14.9%
木製建具及び建築用木工品	8.9	11.2	25.1%
繊維板	7.3	9.0	22.5%
植物性ろう	9.2	8.4	▲8.8%
パーティクルボード	4.2	5.3	25.4%
木炭	3.8	3.8	▲0.9%
その他	81.4	62.5	▲23.2%
林産物計	263.2	268.2	1.9%

※「繊維板」: 木材・竹・わら・パルプなどの植物繊維を圧縮成形して作った板。用途は、断熱・吸音材、壁パネル・外装など。

※「パーティクルボード」: 木材の小削片を主原料として板状に成型した建材。用途はプレハブ住宅などの床・壁・屋根下地など。

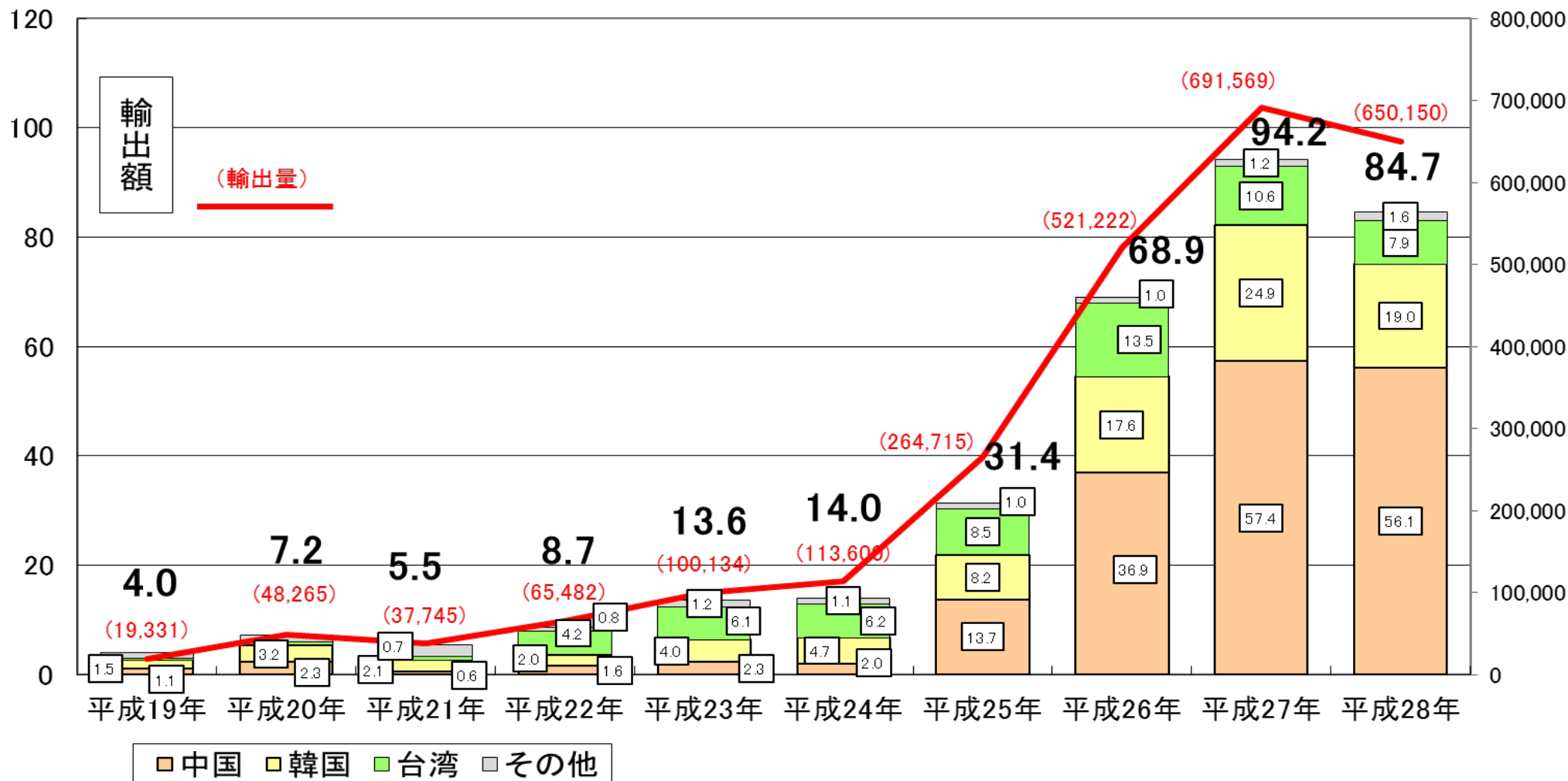
丸太の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 近年、中国での建築資材、韓国での住宅内装用に需要が高まり、輸出が大きく増加。平成28年は、韓国での需要減、円高の影響等により減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 立方メートル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

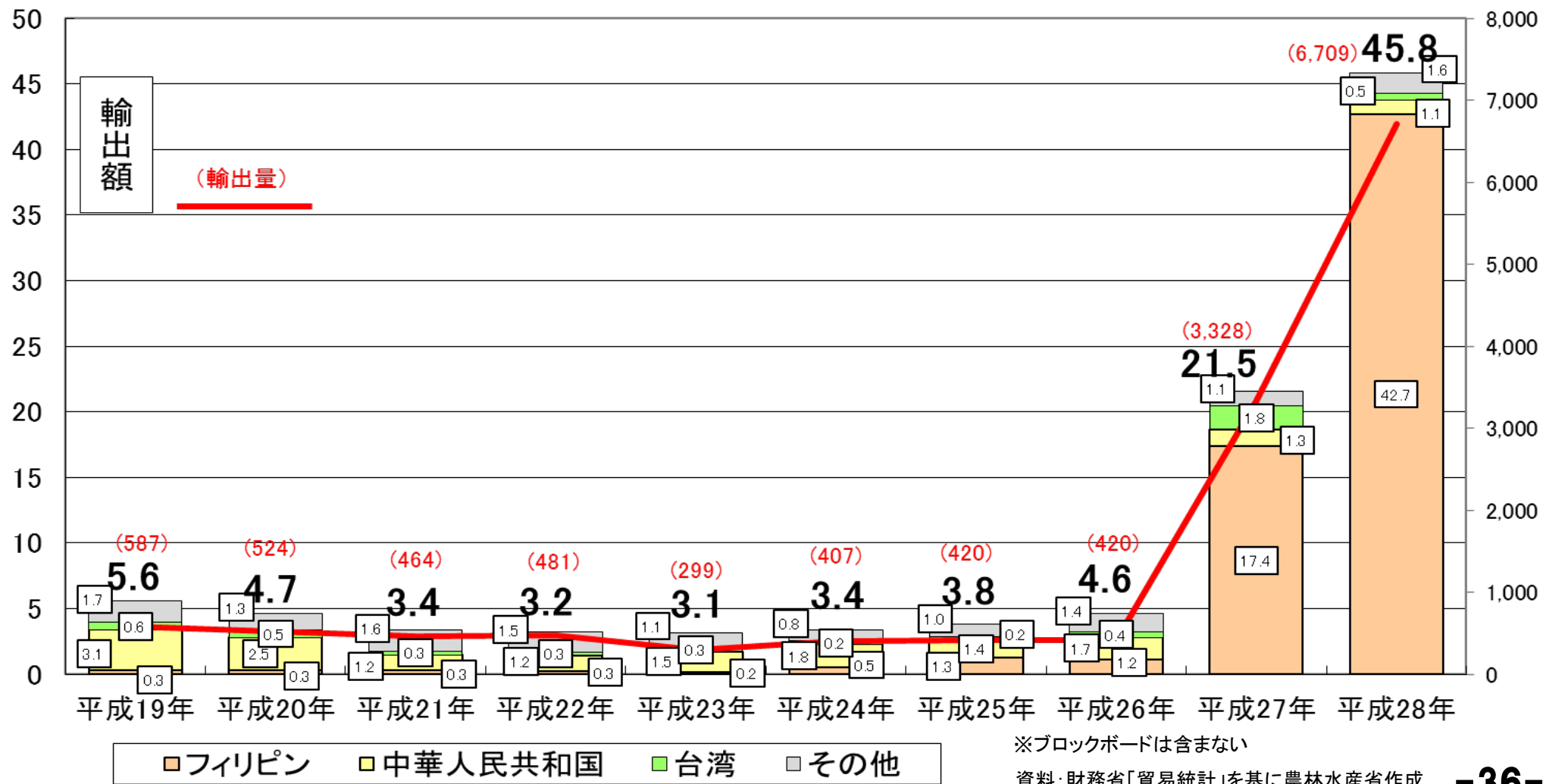
合板の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 合板(ブロックボードを除く)の輸出は、近年、フィリピン向けを中心に急増。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 千平方メートル)



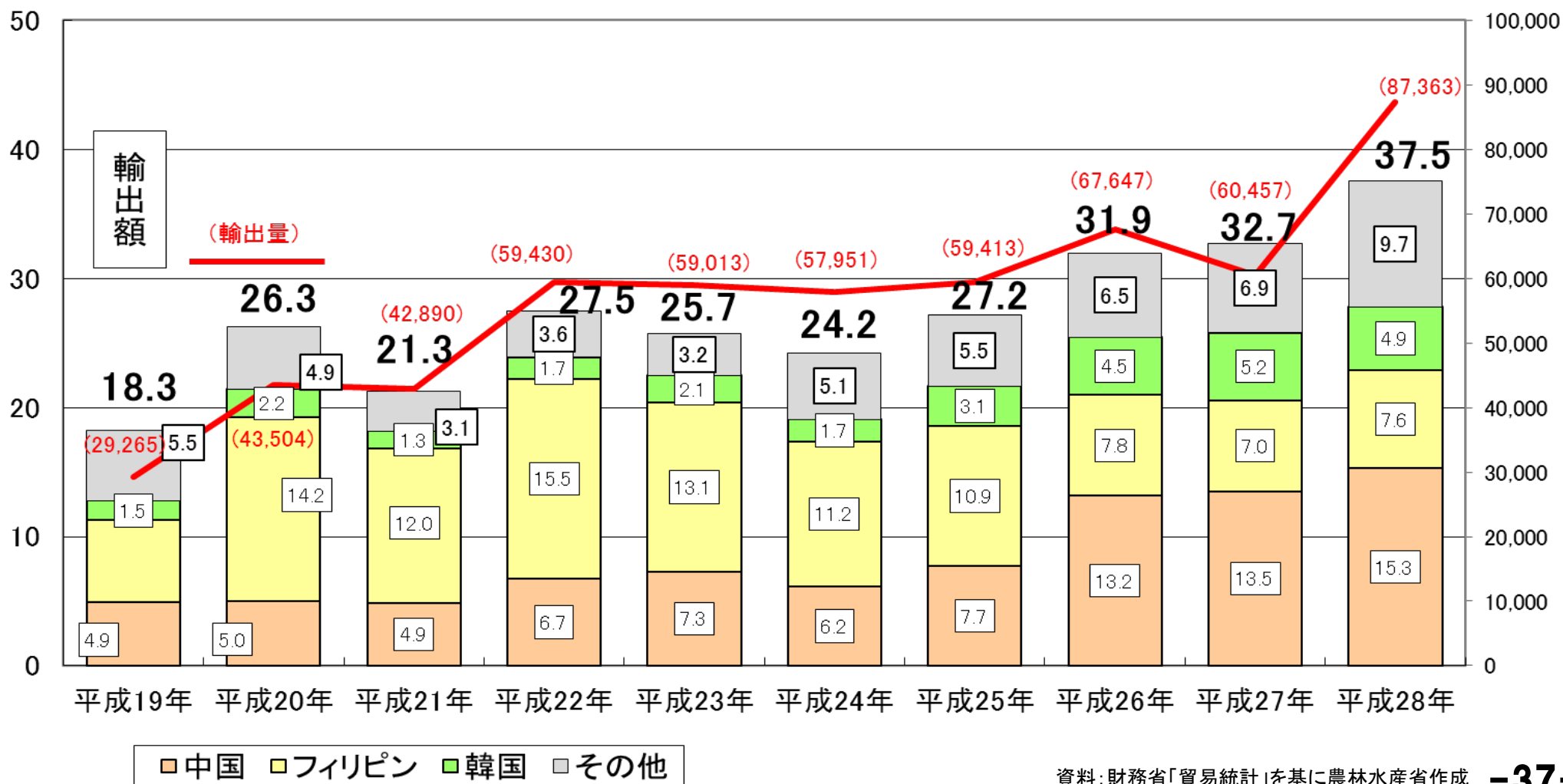
製材の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 中国、フィリピン、韓国向けで輸出額計の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: 立方メートル)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

- (単位:億円)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



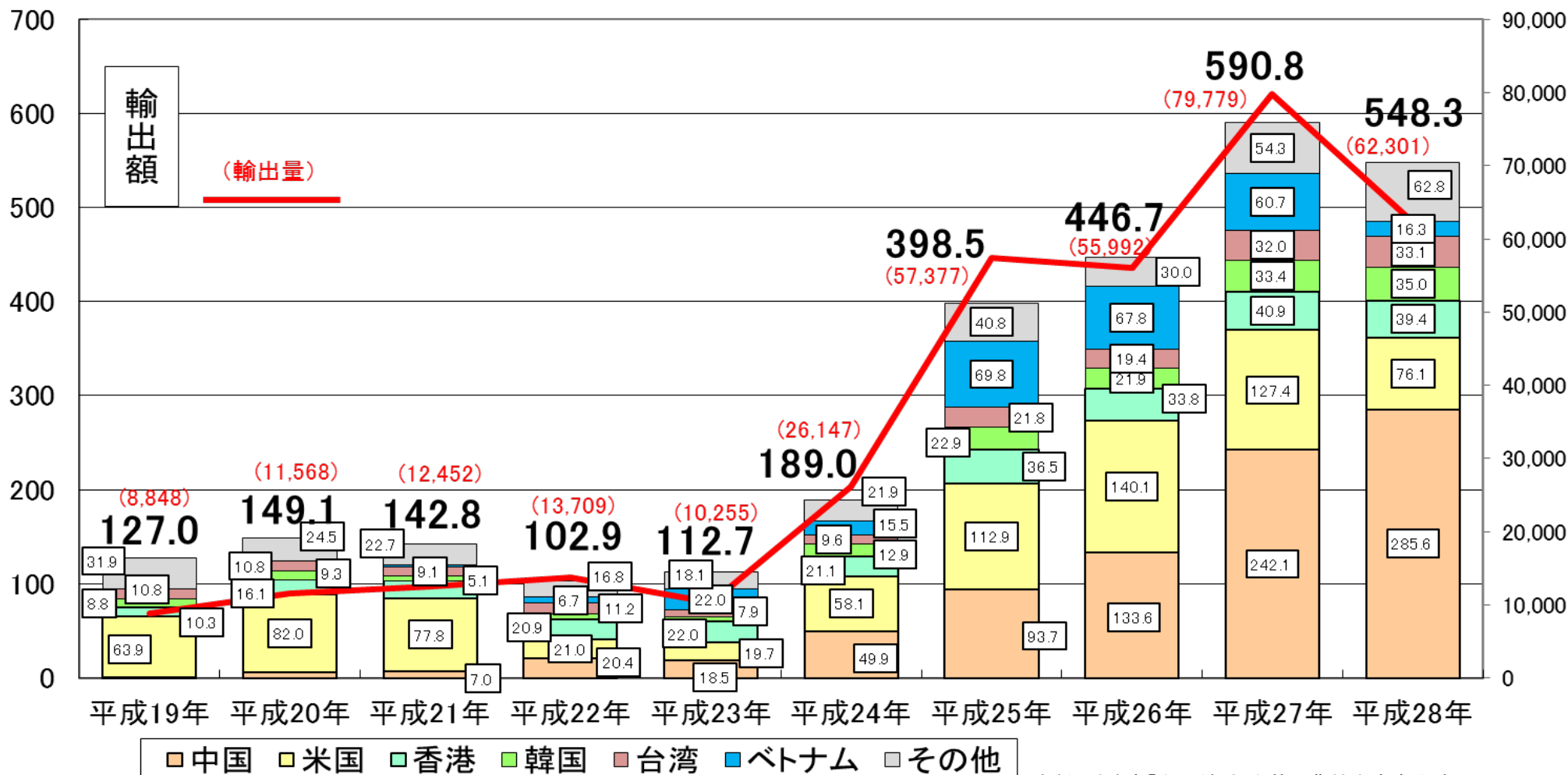
ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ホタテ貝は、我が国の主力輸出品。
- 近年、平成27年まで、輸出が顕著に増加したが、平成28年は水揚量の減少等により減少。中国、米国向けで全体の約6割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



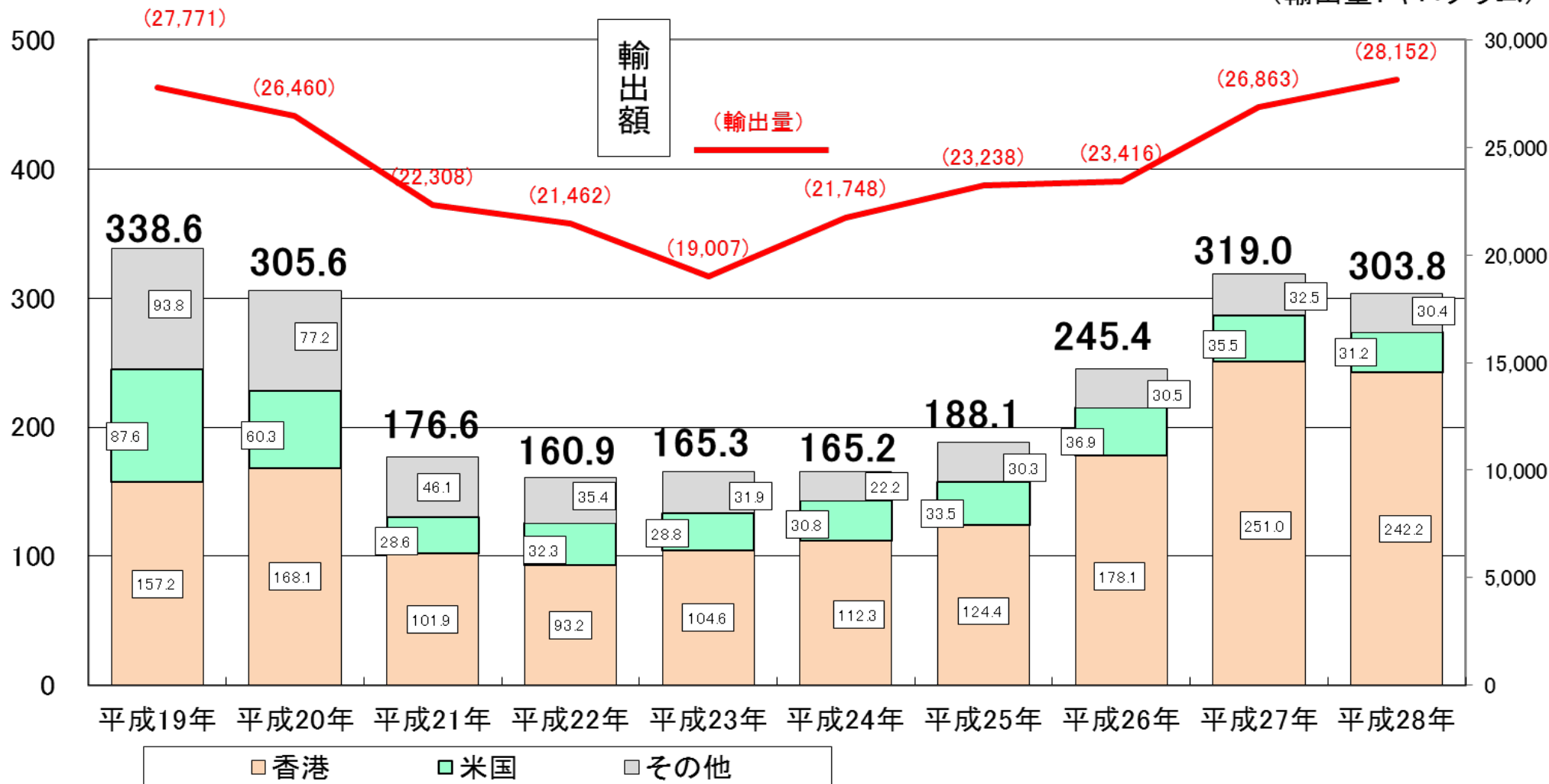
真珠(天然・養殖)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 真珠は、主に香港向けの輸出が大半を占め、輸出額は近年平成27年まで増加してきたが、平成28年は円高の影響等により減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キログラム)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

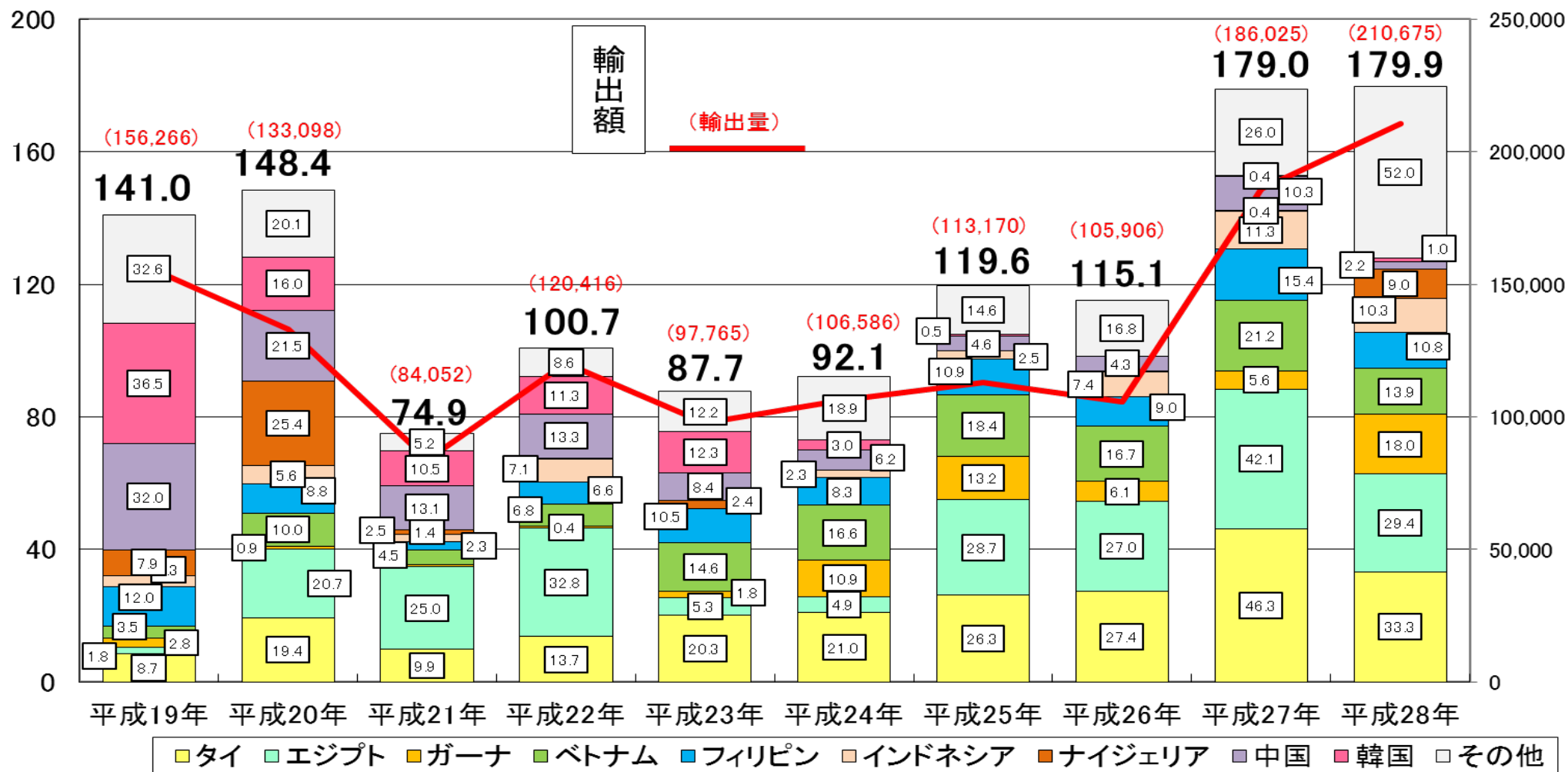
さばの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- さばは、缶詰原料等の加工用を中心にタイ、ベトナム、フィリピンなど東南アジア向けその他、エジプトやガーナなどアフリカ向けにも輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



※輸出額は、平成22年までは冷蔵及び冷凍品の計。平成23年からは生鮮、冷蔵及び冷凍品の計
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

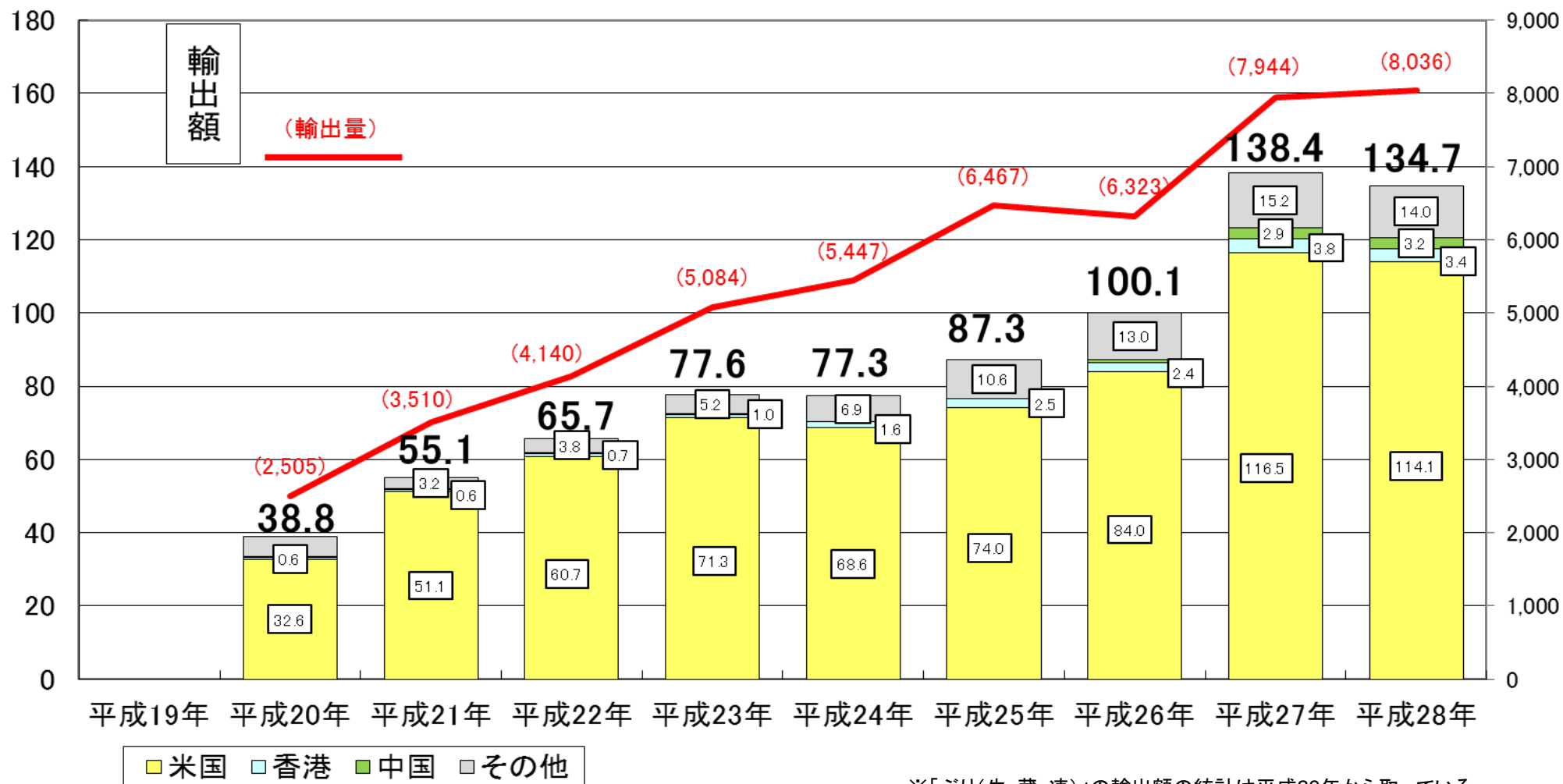
ぶりの輸出額・輸出品及び輸出先国の推移

MAFF

- ぶりの輸出額は、米国向けが中心に、平成27年まで順調に増加したが、平成28年は在庫調整等により減少。

(輸出額: 億円)

(輸出品: トン)



※「ぶり(生・蔵・凍)」の輸出額の統計は平成20年から取っている
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

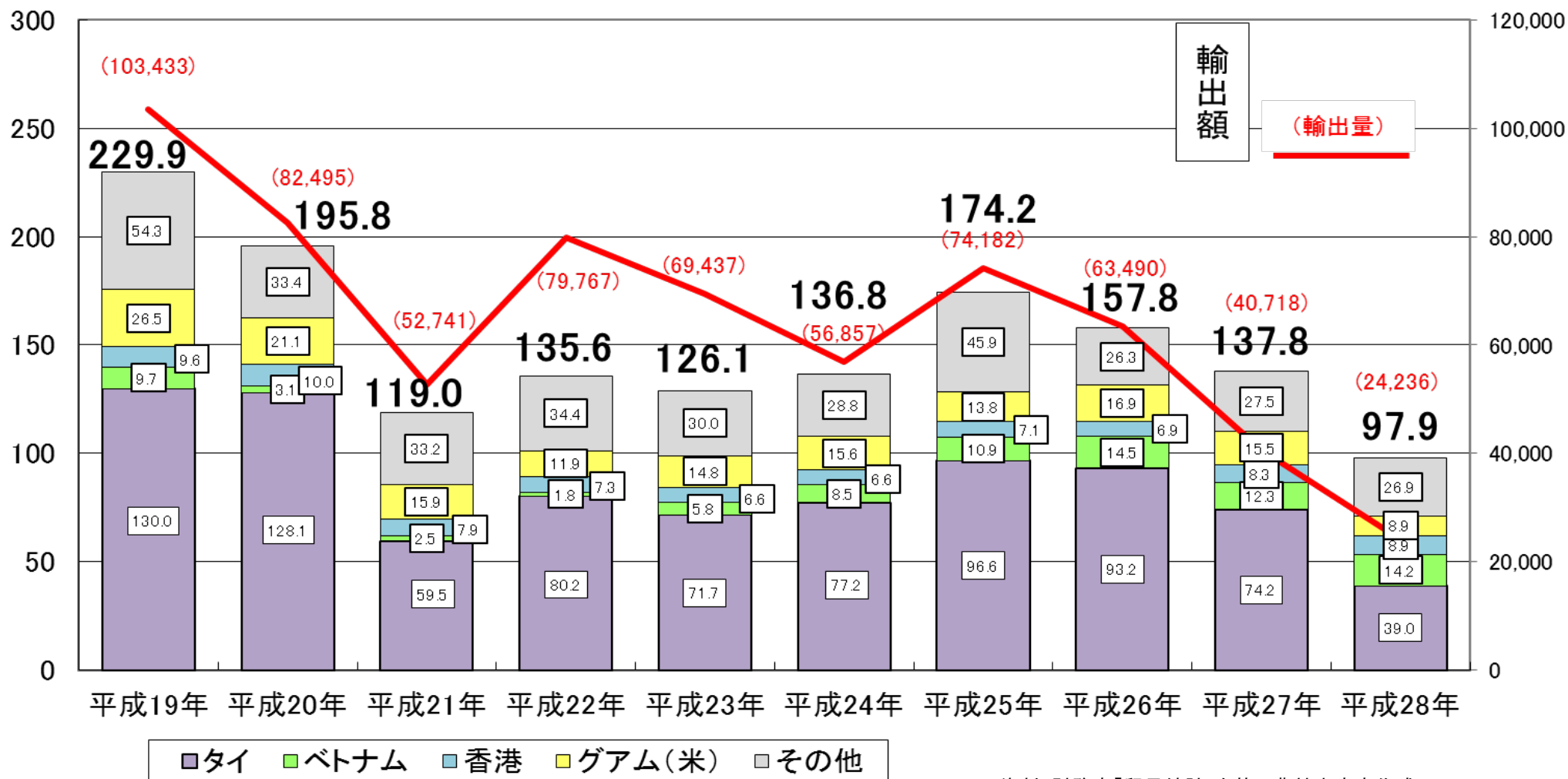
かつお・まぐろ類の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● かつお・まぐろ類は、近年、水揚量の減少や日本国内向け需要の逼迫により、輸出は減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

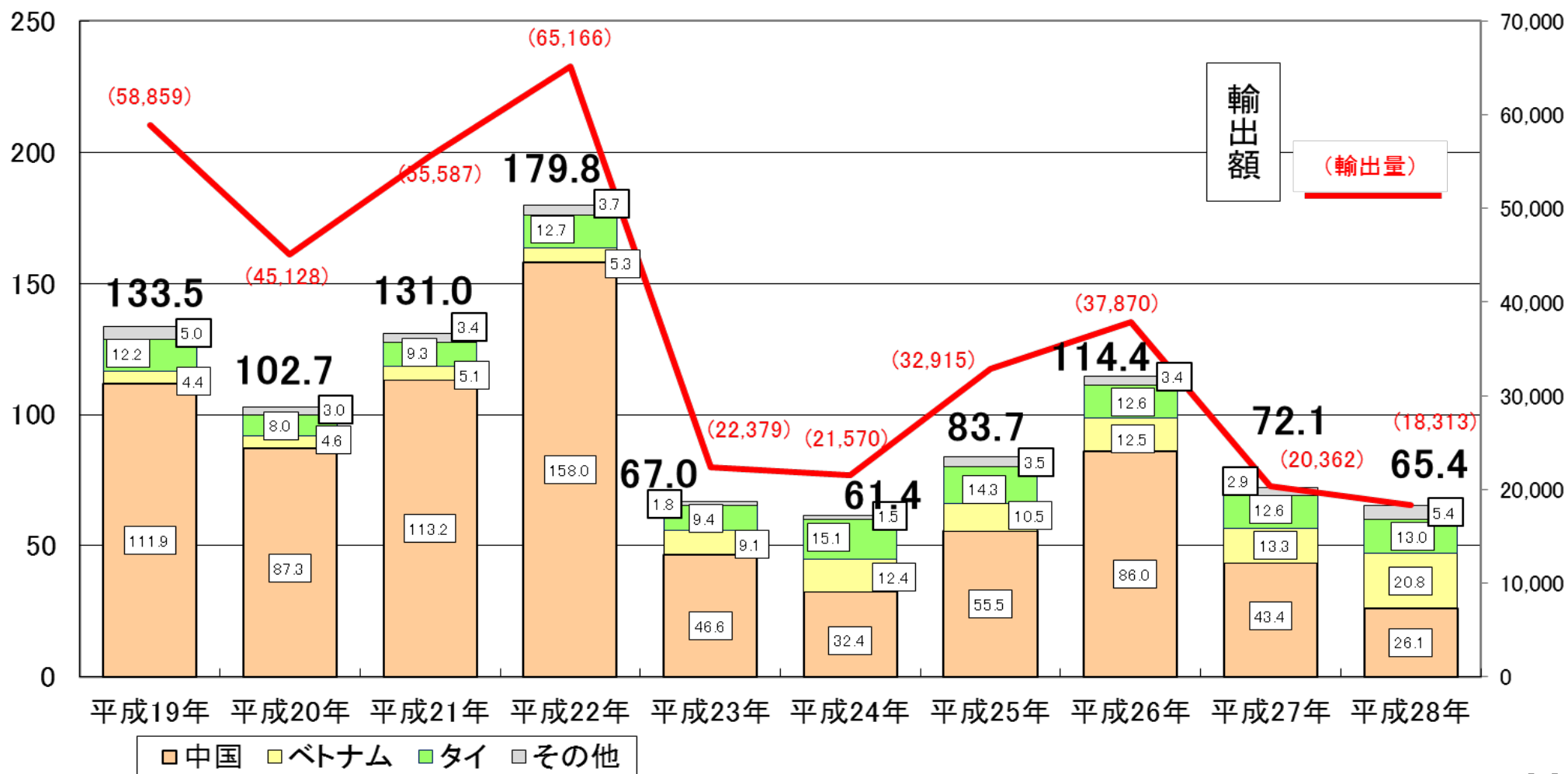
さけ・ますの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● さけ・ますは、中国、ベトナム、タイ向けが大半。輸出額は漁獲動向等の影響を受けて、大きく増減。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

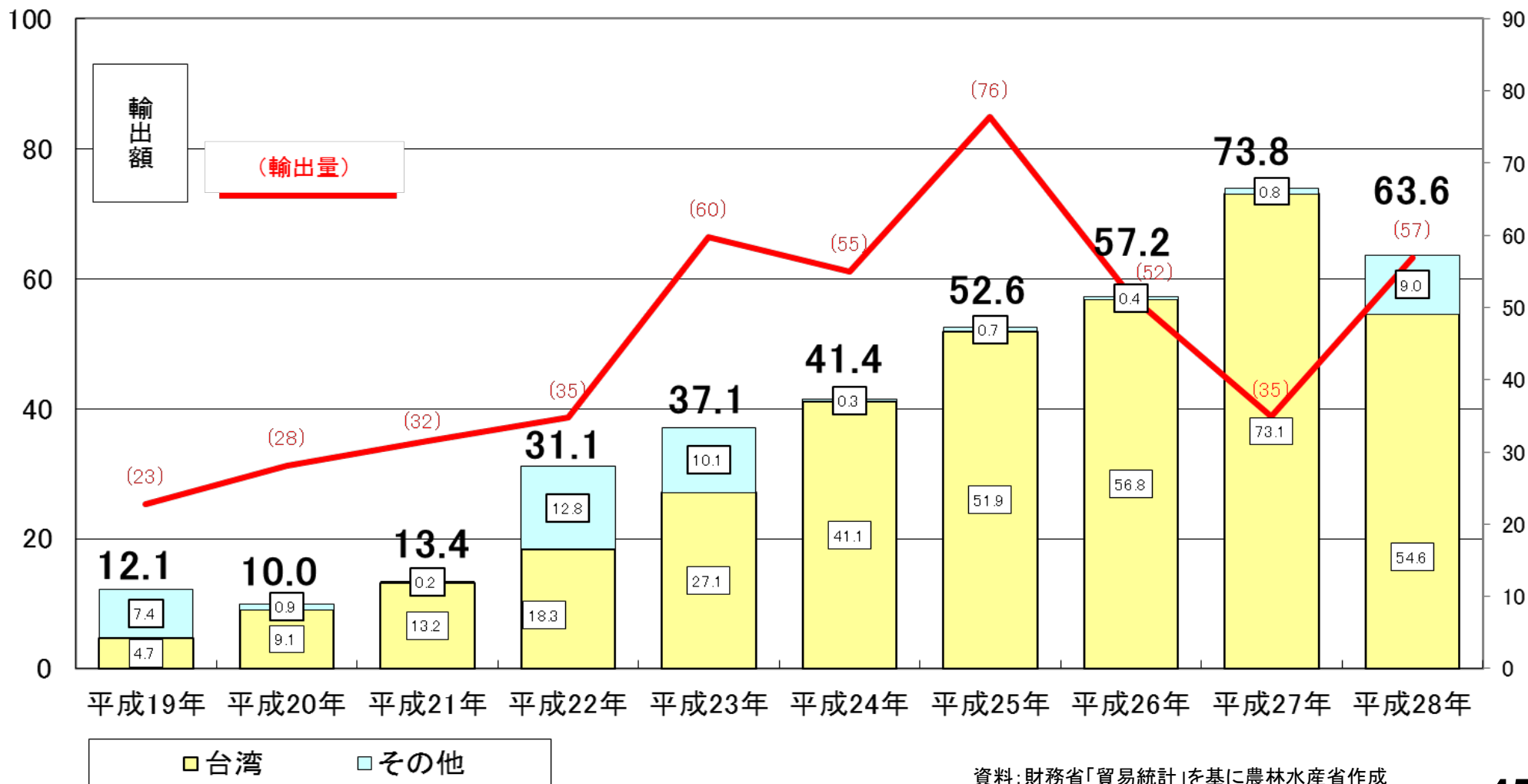
さんごの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

● さんごは、台湾向けが大半。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

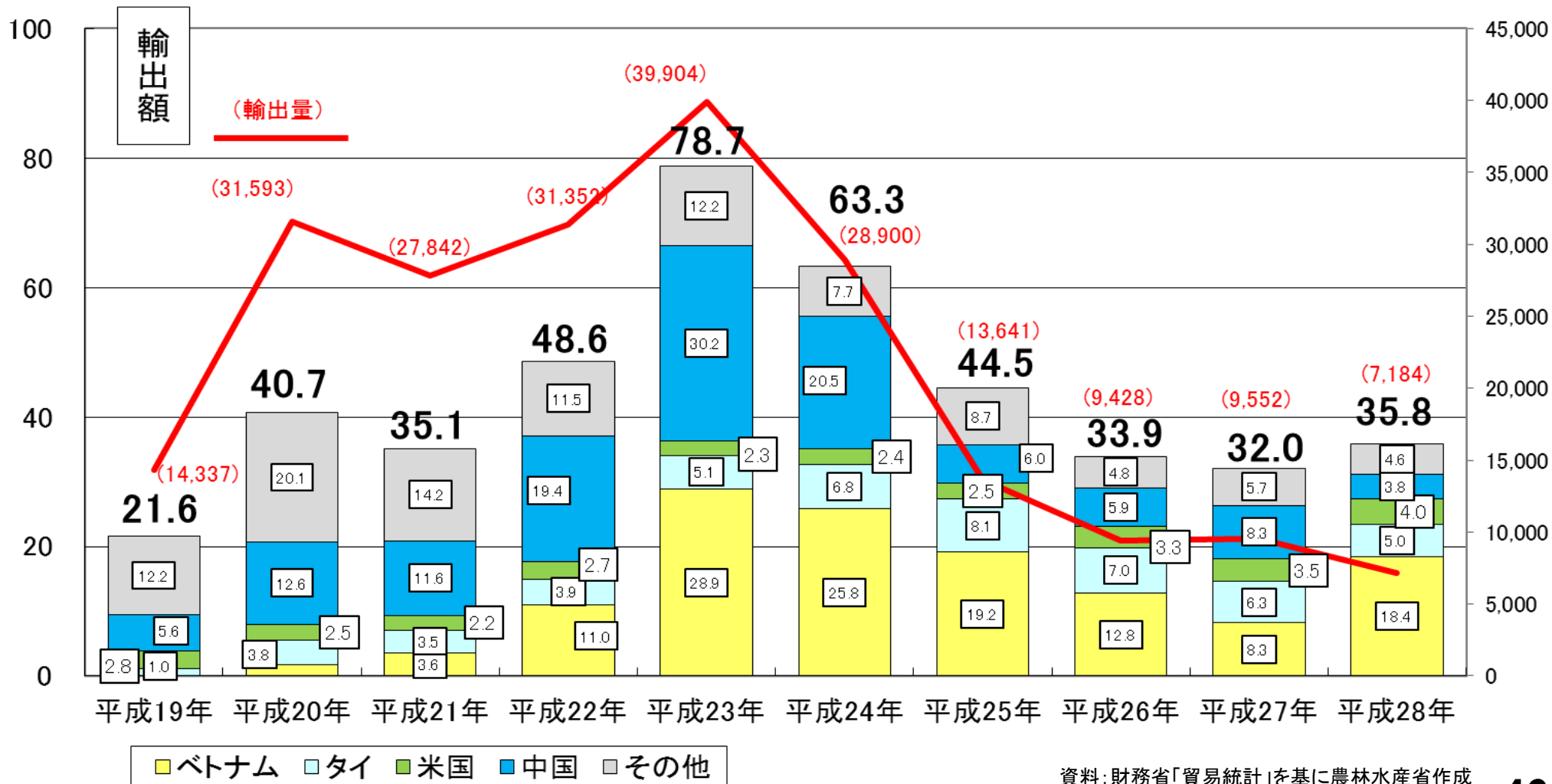
いかの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- いかの輸出額は近年減少傾向。
- 主に加工原料用としてベトナム、中国、タイ向けに輸出。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

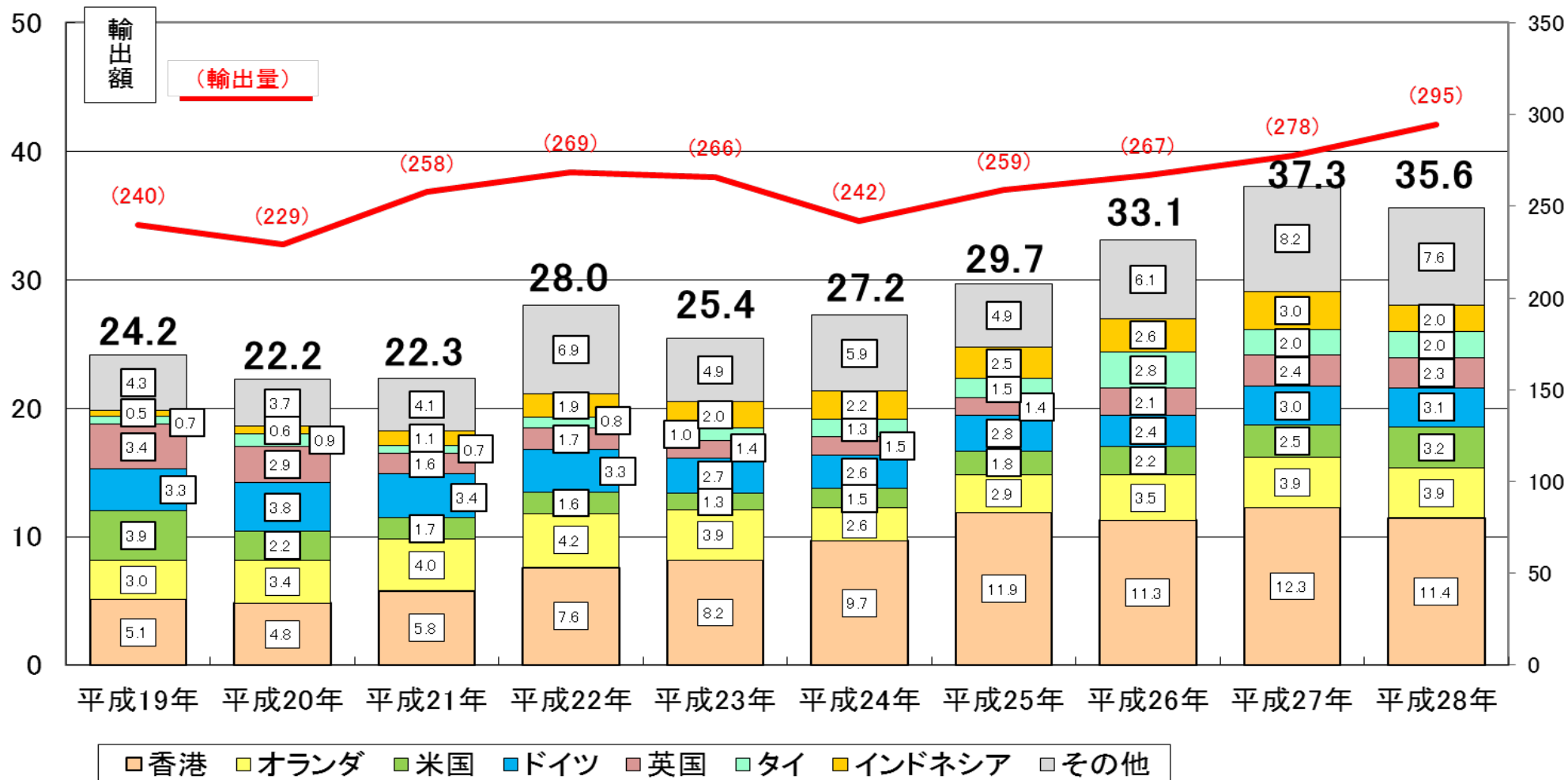
錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 錦鯉等の鑑賞用魚は、欧米やアジアの富裕層を中心に増加傾向。
- 盆栽と並んで、日本文化の象徴として楽しまれている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

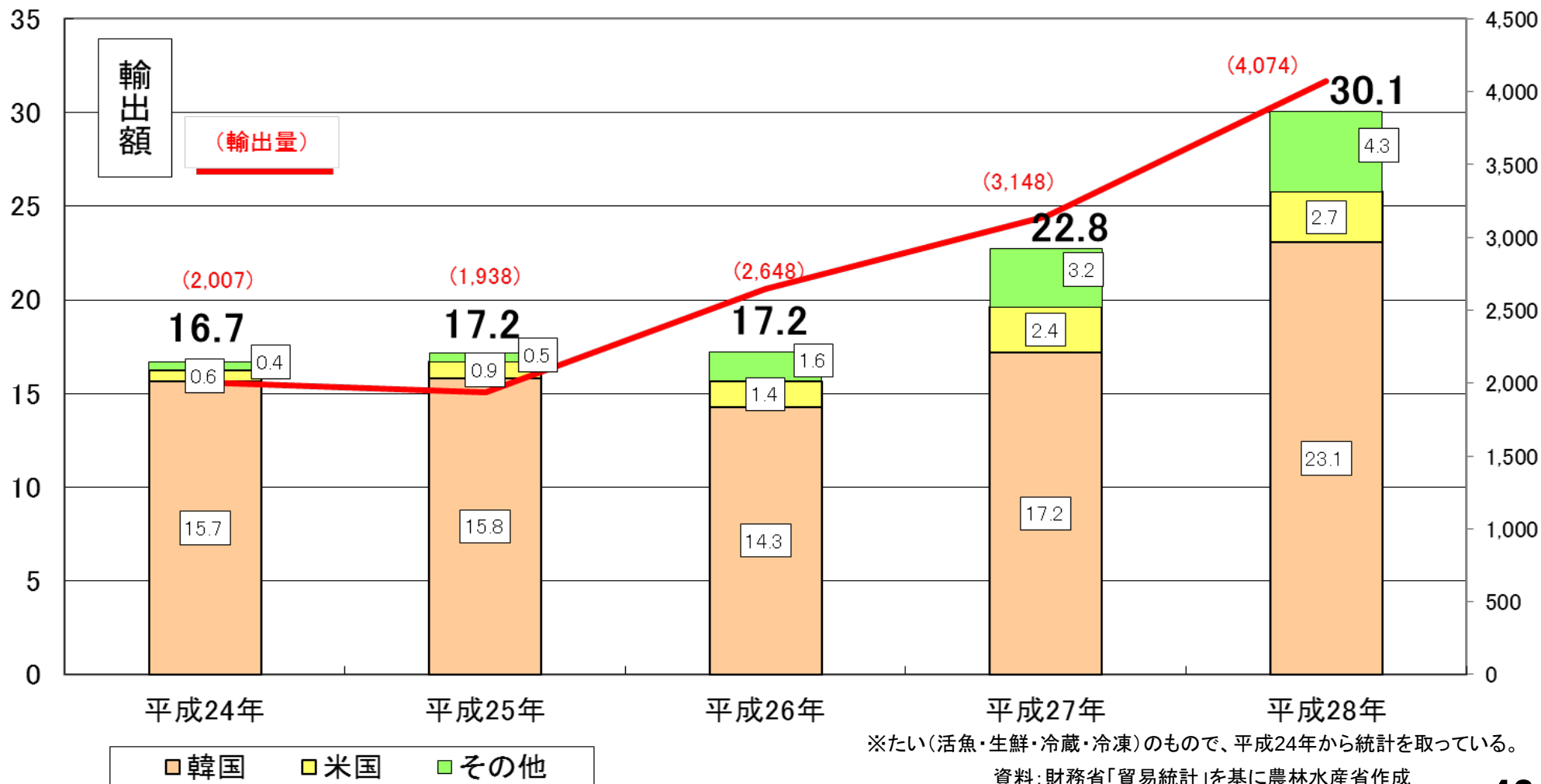
たいの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- たいの輸出は、韓国向けが大半。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



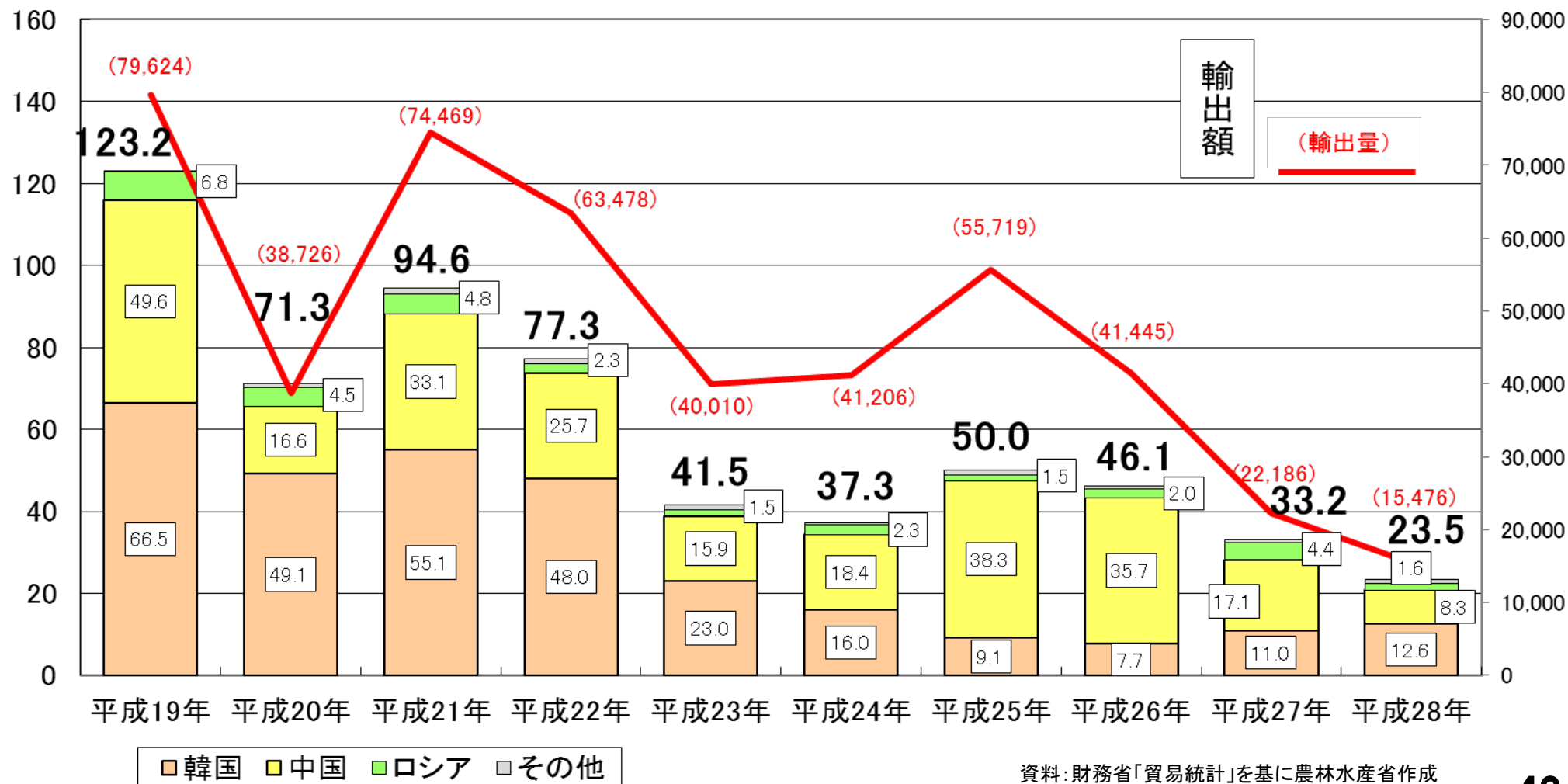
すけとうたらの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- すけとうたらの輸出は、韓国、中国向けが大半。東日本大震災等の影響により、輸出額が大きく減少。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



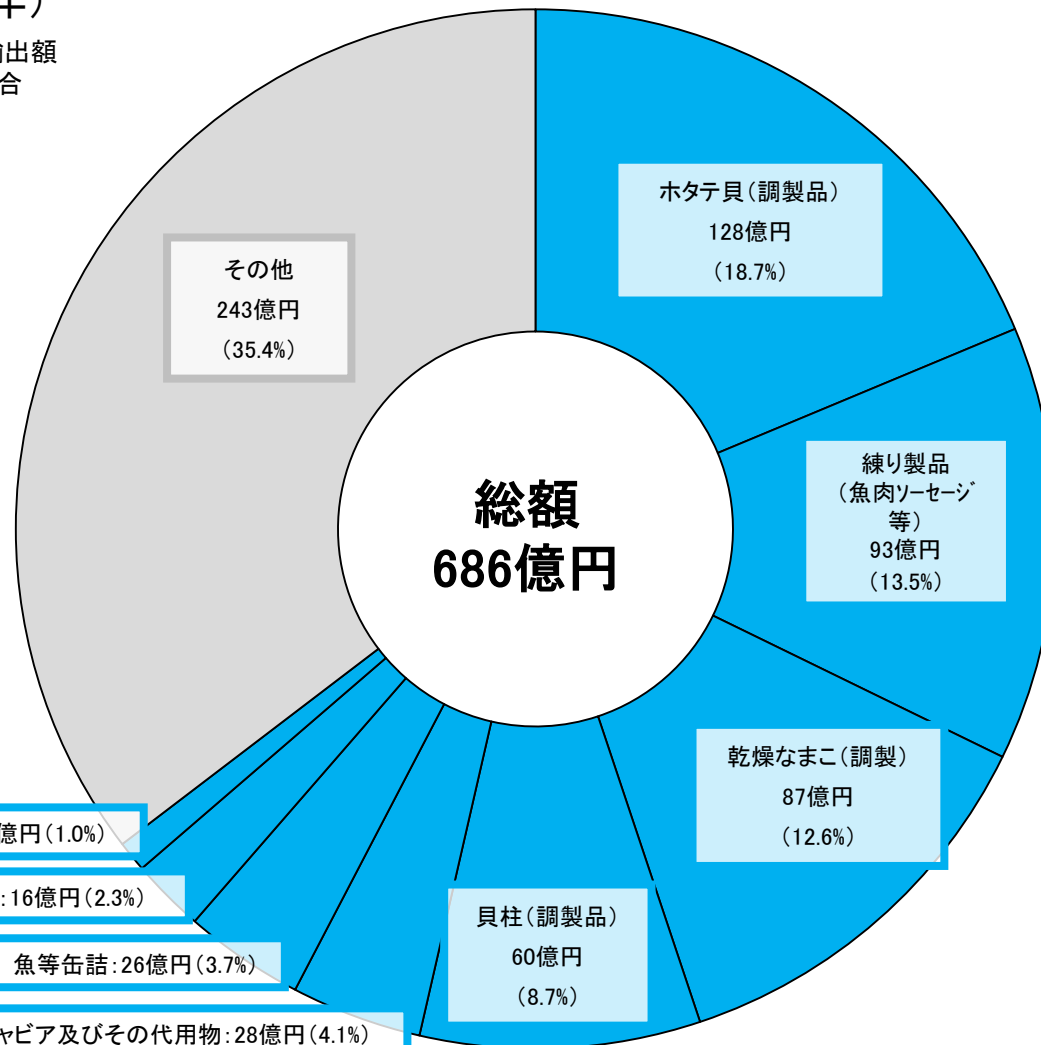
水産調製品の内訳

MAFF

- 水産調製品の品目別内訳をみると、貝柱、乾燥なまこ、練り製品などの割合が多い。

(平成28年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成27年	平成28年	増減率
ホタテ貝(調製品)	157.8	128.4	▲18.7%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	81.7	92.7	13.5%
乾燥なまこ(調製)	103.1	86.8	▲15.8%
貝柱(調製品)	19.4	59.8	208.3%
キャビア及びその代用物	27.0	27.9	3.4%
魚等缶詰	18.6	25.6	37.3%
あわび(調製)	24.1	15.7	▲34.8%
かに調製品	6.6	6.5	▲0.6%
その他	255.1	242.6	▲4.9%
水産調製品	693.5	686.1	▲1.1%

※貝柱(調製品)は、主にホタテ貝、いたや貝、い貝、巻貝以外の貝柱のもの

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

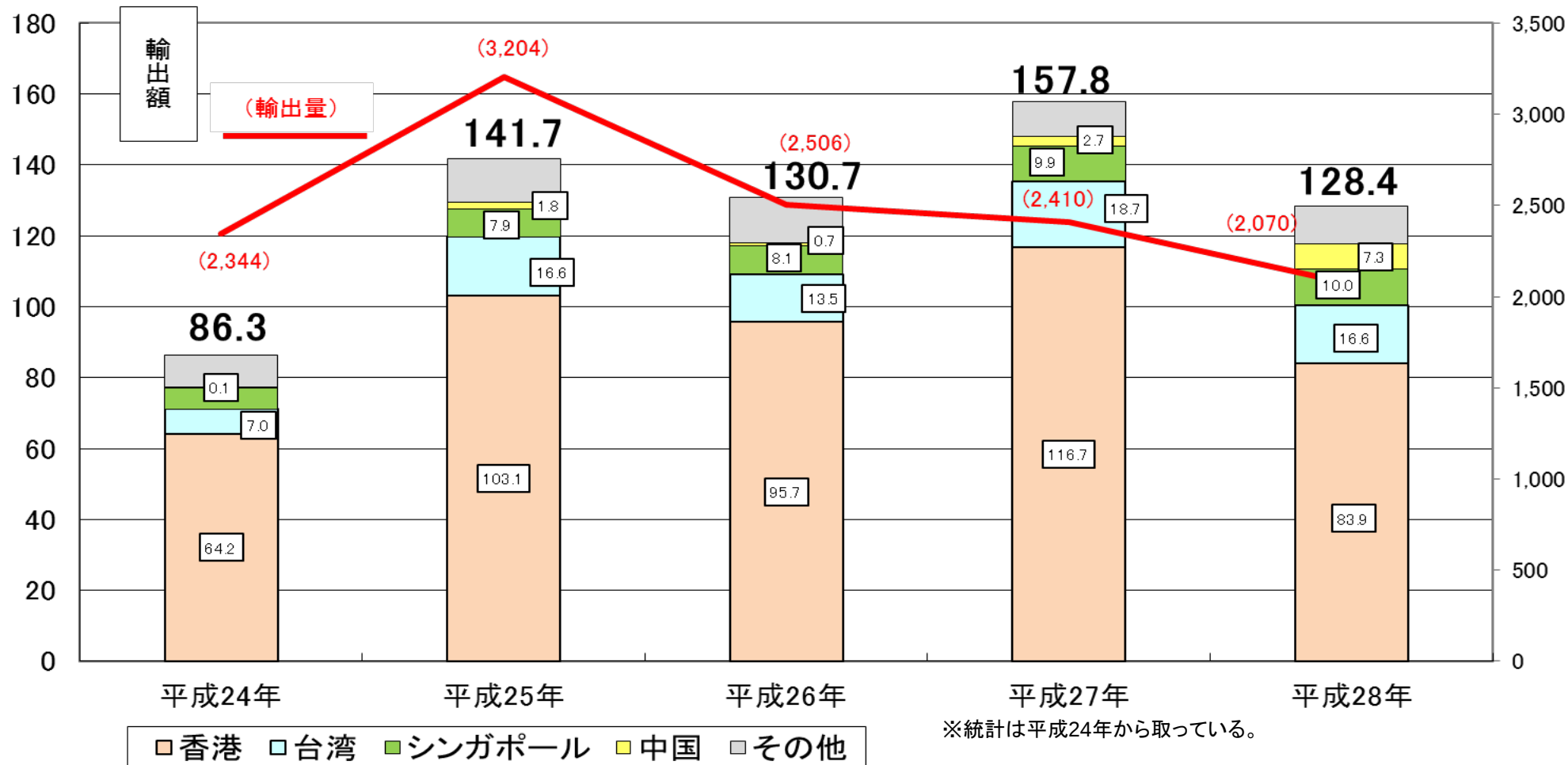
ホタテ貝(調製品)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ホタテ貝の干し貝柱が中心であるとみられ、中華料理の食材として使われているが、平成28年はホタテ貝の水揚げ量の減少等の影響を受けて減少。
- ほとんどが香港や台湾に輸出されている。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



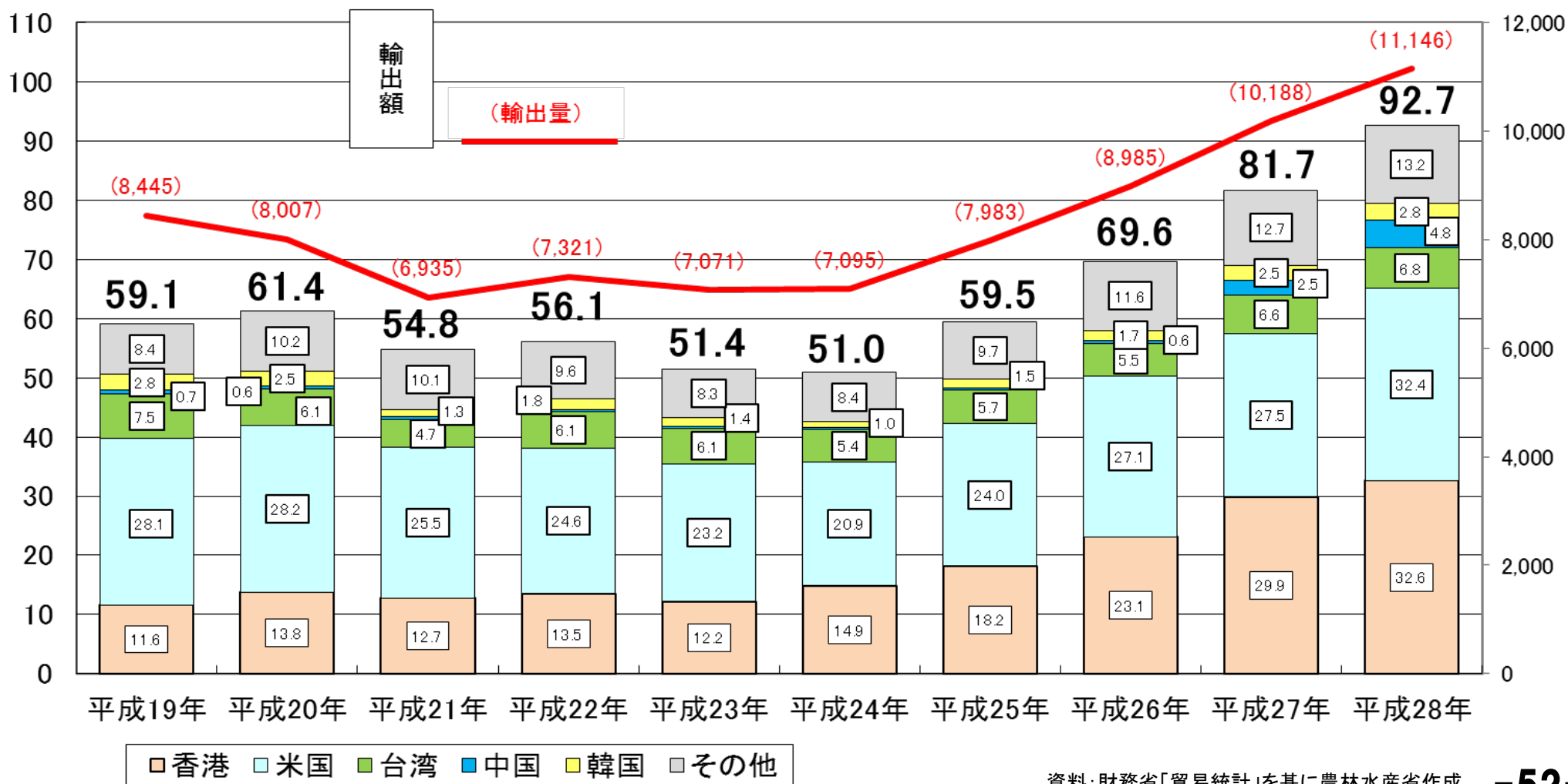
練り製品(魚肉ソーセージ等)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 香港、米国、台湾向けが全体の約8割を占めており、近年は増加傾向。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

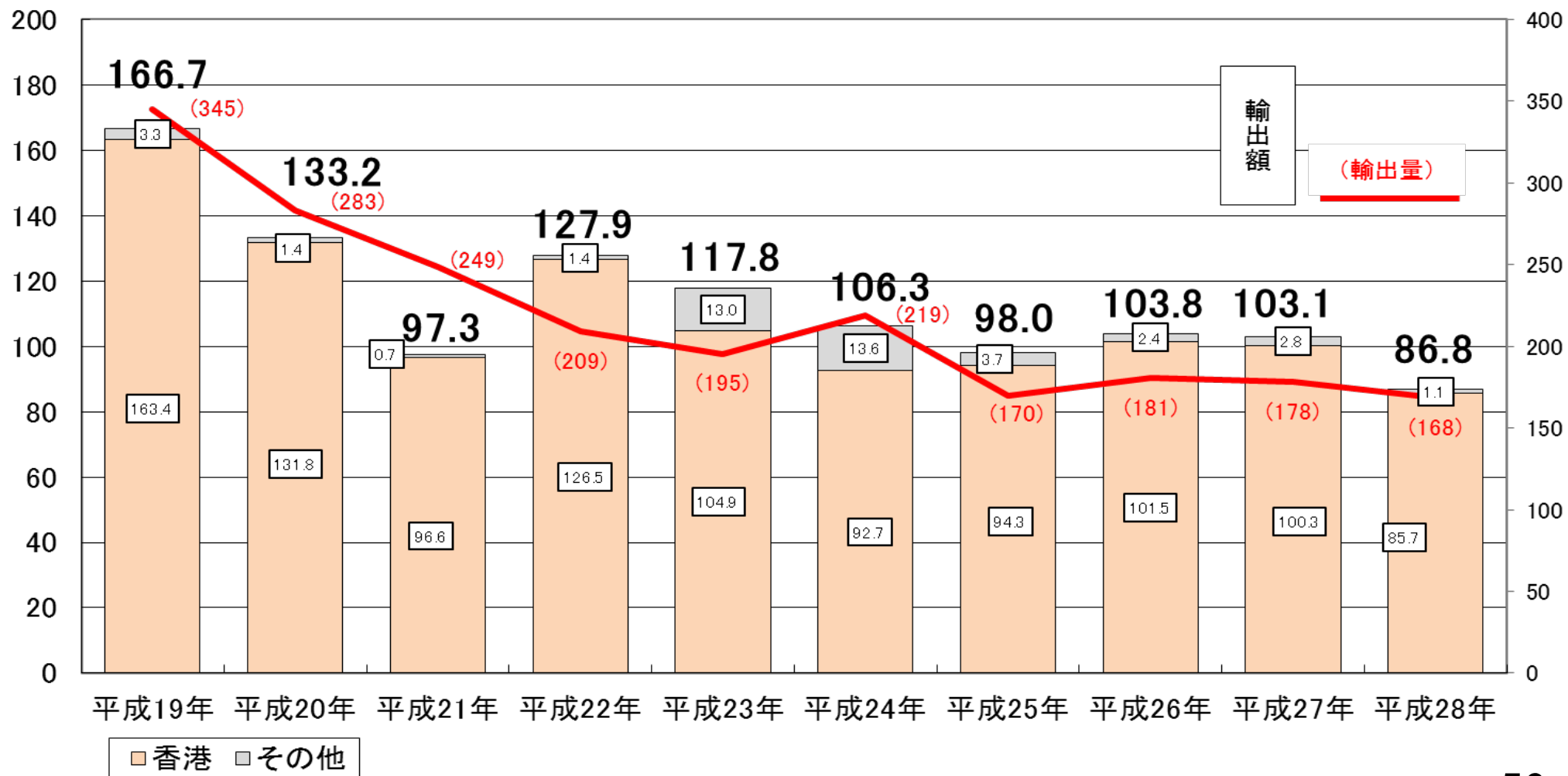
乾燥なまこ(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 乾燥なまこは、「黒いダイヤ」と称され、高級食材として人気。
- ほとんどが香港に輸出されているが、近年は減少傾向。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

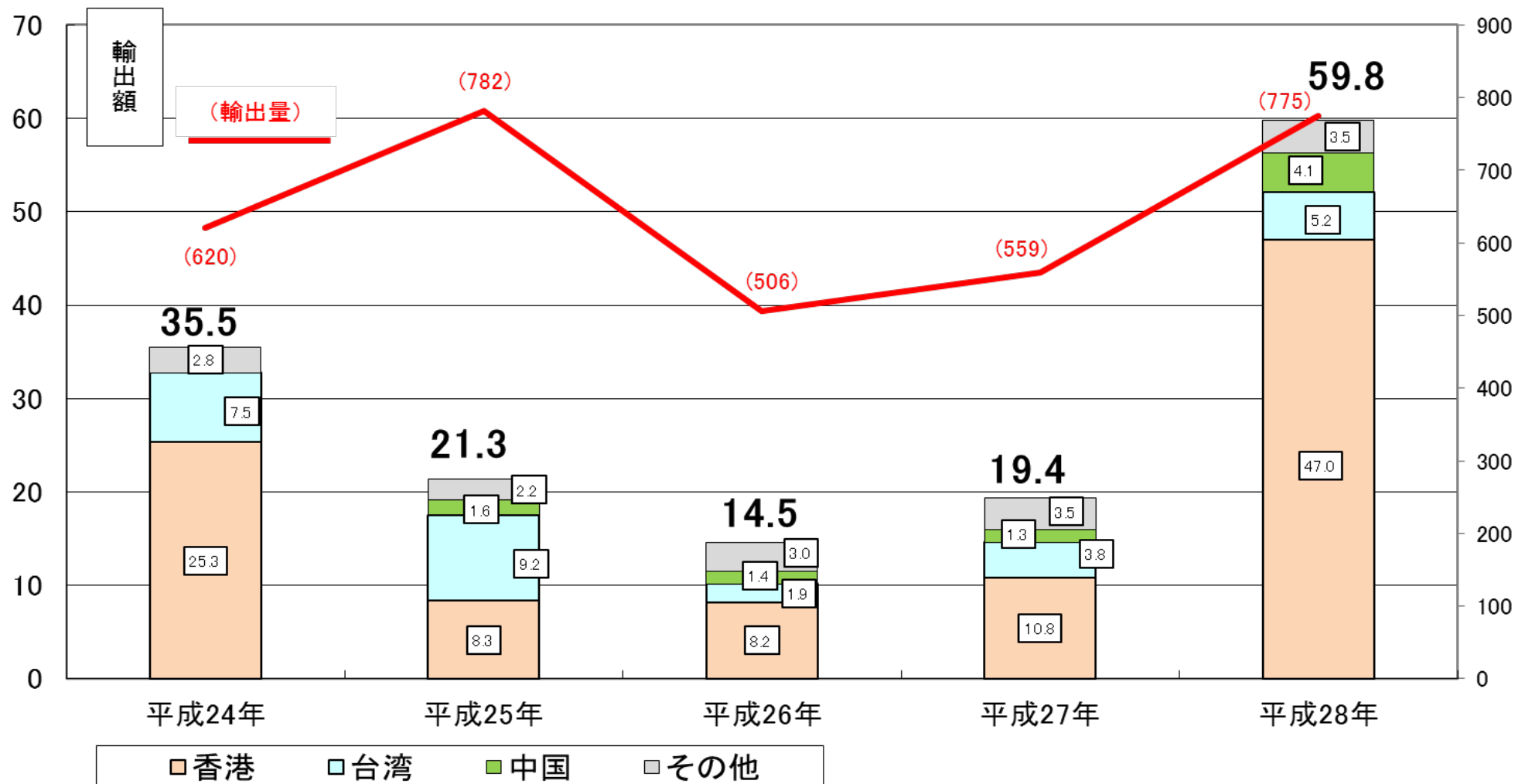
貝柱(調製品)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- ホタテ貝の水揚量の減少等により、その他の貝類を含めて貝柱全体の価格高騰なるも、香港や台湾からの一定の需要が維持され、輸出額が増加。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

あわび(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 高級中華料理の食材として人気のあわび(調製)は、ほとんどが香港に輸出されている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)

